

平成26年度愛媛県内SPOD加盟校会議 議事次第

日 時：平成27年2月3日（火） 13：00～14：45

場 所：愛媛大学城北キャンパス 共通教育講義棟 講53教室

議 題：

1. 平成26年度SPOD事業について

- ・平成26年度SPOD事業実施状況一覧 【資料1-1】
- ・平成26年度SPOD研修プログラム実施状況一覧 【資料1-2】
- ・平成26年度SPOD加盟校内講師派遣プログラム実施状況一覧 【資料1-3】

2. 平成27年度SPOD事業計画について

- ・平成27年度SPOD事業計画（案） 【資料2-1】
- ・平成27年度SPOD事業スケジュール（案） 【参考資料1】
- ・SPODフォーラム2015について 【資料2-2】
- ・平成27年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業経費 【資料2-3】

3. SPODフォーラム2014の総括について

- ・SPODフォーラム2014受講者数について 【資料3-1】
- ・SPODフォーラム2014事前アンケート集計結果 【資料3-2】
- ・SPODフォーラム2014事後アンケート集計結果 【資料3-3】
- ・SPODフォーラム2014参加者からの要望等について 【資料3-4】
- ・SPODフォーラム全体アンケート経年比較 【資料3-5】

4. 平成25年度事業評価委員会委員からの指摘事項に対する対応状況について

- ・事業評価委員会からの指摘事項に対する対応状況について 【資料4】
- ・平成26年度第1回SPOD将来構想ワーキンググループ議事概要 【参考資料2-1】
- ・平成26年度第2回SPOD将来構想ワーキンググループ議事概要 【参考資料2-2】

5. SPODネットワークコア運営協議会FD／SD専門部会での検討事項について

- ・平成26年度第1回SPODネットワークコア運営協議会FD専門部会議事概要【資料5-1】
- ・平成26年度第2回SPODネットワークコア運営協議会FD専門部会議事概要【資料5-2】
- ・平成26年度第1回SPODネットワークコア運営協議会SD専門部会議事概要【資料5-3】
- ・平成26年度第2回SPODネットワークコア運営協議会SD専門部会議事概要【資料5-4】
- ・SPOD新任教員研修アンケート分析リーフレット 【参考資料3】

6. 平成26年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会等について

- ・平成26年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会及び
FD/SD分科会実施要項 【資料6】

7. 愛媛大学教育改革シンポジウムの開催について

- ・平成26年度愛媛大学教育改革シンポジウムチラシ 【資料7】

8. その他

9. FD／SD意見交換会について

平成26年度愛媛県内SPOD加盟校会議 出席者名簿

大学等名	所属・役職名	氏名	担当
愛媛県立医療技術大学	看護学科教授(FD委員長)	北原 悦子	FD
	事務局経営企画グループ主幹	石原 新	SD・事務
聖カトリナ大学 聖カトリナ大学短期大学部	総務課長	大浦 慎一	SD
松山大学 松山短期大学	副学長	山田 富秋	FD
	人事課長	大野 尚文	SD
	教務部次長	阿部 起仁	事務
松山東雲女子大学 松山東雲短期大学	心理福祉専攻主任・教授(FD委員長)	森 日出樹	FD
	事務局・事務部次長	木村 佑香	SD
	事務局・教務課長	中島 登代美	事務
今治明德短期大学	教授	原 映子	FD
	事務部長	綿貫 周久	SD・事務
環太平洋大学短期大学部	事務局長	山口 清幸	SD
愛媛大学	教育・学生支援機構副機構長／教育企画室長	小林 直人	FD
	教育企画室 准教授	山田 剛史	FD
	教育企画室兼総合情報メディアセンター教育デザイン室長 講師	仲道 雅輝	FD
	教育企画室 講師	村田 晋也	FD
	教育企画室 助教	清水 栄子	FD
	教育企画室 特定研究員	林 真弥	FD
	教育企画室兼広報室副室長 講師	阿部 光伸	SD
	教育企画室 特任助教	丸山 智子	SD
	総務部人事課副課長	久保 秀二	SD
	総務部人事課人事・人材育成チームリーダー	大塚 陽介	SD
	総務部人事課人事・人材育成チーム	古村 翔	SD
	教育学生支援部長	吉田 一恵	SD・事務
	教育学生支援部教育企画課長	神 智彦	FD・事務
	教育学生支援部教育企画課副課長	織田 隆司	SD・事務
	教育学生支援部教育企画課教育企画チームリーダー	濱元 悠子	事務
	教育学生支援部教育企画課教育企画チームサブリーダー	山内 ちあき	事務
	教育学生支援部教育企画課能力開発室	秋山 裕佑	事務
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	戸田 裕香	事務
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	三好 歌織	事務
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	松崎 由里子	事務
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	神谷 敦子	SD・事務
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	川井 順子	SD・事務

平成26年度SPOD事業実施状況一覧

平成27年1月27日現在

事業名	開催日時	開催場所	参加者数	備考
1. FD事業				
①新規採用教員研修				
・授業設計ワークショップ	平成26年6月28日～6月29日	徳島大学	31	済
・よりよい授業のためのFDワークショップ	平成26年9月18日～19日	休暇村讃岐五色台(香川県坂出市) (香川大学主催)	14	済
・第22回 授業デザインワークショップ	平成26年7月5日～6日	久万高原ふるさと旅行村 (愛媛大学主催)	14	済
・第23回 授業デザインワークショップ	平成26年9月1日～3日	愛媛大学	19	済
・学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	平成26年9月1日～2日	高知大学	5	済
②ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ				
・東四国対象(徳島県、香川県)	平成27年3月	徳島大学		
・西四国対象(愛媛県、高知県)	平成26年9月17日～18日	愛媛大学	19	済
・高専対象	平成26年10月31日～11月2日	愛媛大学	7	済
③ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップ	平成26年7月7日	愛媛大学	2	済
④アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ	平成26年9月17日～18日	愛媛大学	2	済
⑤その他各種FDプログラムの実施	※	各加盟校	※	※別添参照
⑥FDプログラムの開発				
2. SD事業				
①職員のための講師養成講座				
・第1回	平成26年6月12日～13日	愛媛大学	13	済
②大学人・社会人としての基礎力養成プログラム				
・レベルⅠ 第1回	平成26年5月14日～16日	徳島大学	75	済
・レベルⅠ 第2回	平成26年10月23日～24日	愛媛大学	57	済
・レベルⅡ	平成26年10月9日～10日	愛媛大学	23	済
・レベルⅢ	平成26年7月3日～4日	愛媛大学	24	済
・共通科目	平成26年9月11日～12日	愛媛大学	28	済
③学務系職員養成プログラム				
・レベルⅠ				
学生支援概論	平成26年7月24日～25日	四国大学	39	済
入試情報調査論	平成26年7月24日～25日	四国大学	39	済
学生相談入門	平成26年7月24日～25日	四国大学	39	済
④国際連携系職員養成研修				
・レベルⅡ	平成26年8月28日	高知大学	22	済 SPODフォーラム2014プログラム
⑤次世代リーダー養成ゼミナール				
・第1回	平成26年5月22日～24日	愛媛大学	20	済 開放講義参加者を除く
・第2回	平成26年7月17日～19日	徳島大学	19	済
・第3回	平成26年11月6日～8日	愛媛大学	23	済
・第4回	平成27年1月22日～23日	香川大学		
⑦高等教育トップリーダーセミナー	平成26年8月28日	高知大学	88+85	済 SPODフォーラム2014プログラム
⑧スタッフ・ポートフォリオワークショップ	平成26年8月29日	高知大学	22	済 SPODフォーラム2014プログラム
⑨その他各種SDプログラムの実施	※	各加盟校	※	※別添参照
⑩SDプログラムの開発				
3. SPODフォーラム2014	平成26年8月27日～29日	高知大学	436	
4. SPOD共通事業	※	各加盟校	※	※別添参照
5. SPOD運営関係				
① ネットワーク総会	平成27年3月27日	愛媛大学		
② ネットワークコア運営協議会				
・第1回(遠隔)	平成26年4月28日	各コア校	38	済
・第2回(遠隔)	平成26年5月26日	各コア校	38	済
・第3回	平成26年6月24日	愛媛大学	32	済
・第4回(遠隔)	平成26年7月28日	各コア校	38	済
・第5回(遠隔)	平成26年9月22日	各コア校	36	済
・第6回	平成26年11月19日	愛媛大学	33	済
・第7回(遠隔)	平成26年12月17日	各コア校	42	済
・第8回(遠隔)	平成27年1月21日	各コア校	38	済
・第9回	平成27年2月18日	各コア校		
③ 事業評価委員会	平成27年3月5日	愛媛大学		
④ 監査	平成27年3月27日	愛媛大学		ネットワーク総会と同日開催
⑤ その他				
(i) FD/SD分科会	平成27年3月27日	愛媛大学		ネットワーク総会と同日開催
(ii) SPOD加盟校県内会議				
・徳島県内	第1回 平成26年10月22日	徳島大学	13	
・香川県内			-	
・愛媛県内	第1回 平成27年2月3日	愛媛大学		
・高知県内	第1回 平成27年3月予定			

研修プログラム実施状況(平成26年度)

平成27年1月27日現在

日 程	プログラム名	開催大学	対象	受講者数			参加校数 (開催校以外)	
				対面	遠隔	計	対面	遠隔
4月								
4月3日(木)	学生を眠らせない講義法のコツ	愛媛大学	FD/SD	14	3	17	1	3
4月3日(木)	効果的なグループワークの進め方	愛媛大学	FD	18	0	18	2	
4月4日(金)	学生の能力を高める評価法のコツ	愛媛大学	FD	15	1	16	1	1
4月4日(金)	会議マネジメント	愛媛大学	FD	15	0	15		
4月25日(金)	クラスルームコントロール	徳島工業短期大学	FD	17	0	17		
5月								
5月14日(水)～16日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第1回	徳島大学	SD	75	0	75	9	
5月22日(木)～24日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)	愛媛大学	SD	20	0	20	9	
5月22日(木)	同上 開放講義「メンター入門」	愛媛大学	SD	18	0	18	4	
5月22日(木)	同上 開放講義「リーダーシップ論&実践Ⅰ」	愛媛大学	SD	8	0	8	3	
5月23日(金)	同上 開放講義「教育財政管理・戦略論」	愛媛大学	SD	9	0	9	4	
5月23日(金)	同上 開放講義「高等教育IR」	愛媛大学	SD	5	0	5	3	
5月23日(金)	同上 開放講義「大学行政管理日米比較」	愛媛大学	SD	20	0	20	3	
5月24日(土)	同上 開放講義「高等教育政策論」	愛媛大学	SD	27	0	27	4	
6月								
6月5日(木)	担任教員に求められること～担任スキル開発ワーク～	弓削商船高等専門学校	FD	22	0	22		
6月10日(火)	職員が輝くSDの実践事例	高知大学	SD	16	0	16		
6月10日(火)	事例から見た、学生・保護者から信頼される高専教育	新居浜工業高等専門学校	FD	30	0	30		
6月10日(火)	メンタルヘルス研修	愛媛大学	FD/SD	43	0	43	10	
6月12日(木)～13日(金)	職員のための講師養成講座(第1回)	愛媛大学	SD	13	0	13	7	
6月19日(木)	基礎から学ぶ学習評価法	松山大学・短期大学	FD	32	0	32	4	
6月26日(木)	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	徳島大学	SD	59	0	59	9	
6月28日(土)～29日(日)	授業設計ワークショップ	徳島大学	FD	31	0	31	4	
7月								
7月3日(木)～4日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅢ)	愛媛大学	SD	24	0	24	7	
7月5日(土)～6日(日)	第22回授業デザインワークショップ	愛媛大学	FD	14	0	14		
7月7日(月)	ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップ	愛媛大学	FD	2	0	2	1	
7月17日(木)～19日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)	徳島大学	SD	19	0	19	9	
7月18日(金)	同上 開放講義「リーダーシップ論&実践Ⅱ」	徳島大学	SD	5	0	5	1	
7月18日(金)	同上 開放講義「4期生によるSPODフォーラム講義と講評」	徳島大学	SD	14	0	14	2	
7月19日(土)	同上 開放講義「高等教育史」	徳島大学	SD	4	0	4	1	
7月19日(土)	同上 開放講義「SD演習」	徳島大学	SD	2	0	2		
7月24日(木)～25日(金)	学務系職員養成プログラム研修(レベルⅠ)	四国大学・短期大学部	SD	39	0	39	9	
7月22日(火)	小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン ～考え方と進め方～	愛媛県立医療技術大学	FD	24	0	24		
7月29日(火)	小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン ～考え方と進め方～	高知工業高等専門学校	FD	22	0	22	1	
8月								
8月19日(火)	プロジェクト・マネジメント	愛媛大学	FD/SD	27	0	27	1	
8月19日(火)	学習評価の基本	愛媛大学	FD	17	0	17	1	
8月19日(火)	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	香川県立保健医療大学	FD	33	0	33		
8月22日(金)	ルーブリック評価入門ーブレない・速い・楽チン成績評価のスズメー	愛媛大学	FD/SD	19	31	50	5	3
8月22日(金)	講義のための話し方入門	愛媛大学	FD/SD	9	33	42	3	2
8月28日(木)	国際連携系職員養成プログラム(レベルⅡ)「留学生受入実践」※SPODフォーラム	高知大学	FD/SD	22	0	22	※1	※1
8月28日(木)	リーダーセミナーⅠ「『主体的な学び』を促進するカリキュラム・デザイン」※SPODフォーラム	高知大学	FD/SD	88	0	88	※1	※1
8月28日(木)	リーダーセミナーⅡ「われわれはどのような経営視点をもてばよいのか？～大学のマネジメントを考える～」※SPODフォーラム	高知大学	FD/SD	85	0	85	※1	※1
8月29日(金)	スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ～キャリアを見つめるための自身の可視化法～※SPODフォーラム	高知大学	FD/SD	29	0	29	※1	※1
9月								
9月1日(月)	クlickerで教育・研究が変わる！	香川大学	FD/SD	6	0	6		
9月1日(月)～2日(火)	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	高知大学	FD	5	0	5	2	

日 程	プログラム名	開催大学	対象	受講者数			参加校数 (開催校以外)	
				対面	遠隔	計	対面	遠隔
9月1日(月)～3日(水)	第23回授業デザインワークショップ	愛媛大学	FD	19	0	19	3	
9月3日(水)	大学職員のための企画力養成講座	高松大学・短期大学	SD	23	0	23		
9月3日(水)	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン～考え方と進め方～	高知大学	FD	2	0	2		
9月5日(金)	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門—ARCS 動機づけモデルの活用—	愛媛大学	FD/SD	5	0	5	1	
9月9日(火)	英語で授業をしたい教員のためのワークショップ	愛媛大学	FD	5	0	5	3	
9月9日(火)	マインドマップ入門講座	高知学園短期大学	FD/SD	46	0	46	1	
9月9日(火)	大人数講義法の基本(遠隔配信プログラム)	愛媛大学	FD/SD	0	9	9		3
9月11日(木)	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	徳島文理大学・短期大学部	FD	45	25	70		
9月11日(木)～12日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(共通科目)	愛媛大学	SD	28	0	28	4	
9月12日(金)	判断力・決断力養成講座	香川短期大学	SD	19	0	19		
9月16日(火)	効果的なeラーニング活用法(超入門編)	愛媛大学	FD	8	0	8	1	
9月16日(火)	障がい学生支援	愛媛大学	FD/SD	28	0	28	2	
9月17日(火)	学生の学びを促すシラバスの書き方	聖カタリナ大学・短期大学部	FD	25	0	25		
9月17日(水)～18日(木)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ<西四国対象>	愛媛大学	FD	19	0	19	3	
9月17日(水)～18日(木)	アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	FD	2	0	2	2	
9月18日(木)	事例から見た、学生・保護者から信頼される高専教育	香川高等専門学校	FD	26	0	26		
9月18日(木)～19日(金)	新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	香川大学	FD	14	0	14	4	
9月19日(金)	eラーニング入門—Moodleソフトを活用してきめ細やかな学習支援を実現しよう—	愛媛大学	FD/SD	30	0	30	2	
9月24日(水)	教職員のためのPowerPoint～分かりやすい話の組み立て方・資料作成・分かり易い話し方～	高知工科大学	FD/SD	15	0	15		
9月24日(水)	パワーポイント2010基本技・便利技	愛媛大学	FD/SD	13	0	13	2	
9月25日(木)	ティーチング・ポートフォリオ入門～教育実践のリフレクション～	今治明德短期大学	FD	16	0	16	1	
9月25日(木)	動画教材作成法	愛媛大学	FD/SD	12	0	12	3	
9月25日(木)	学生の自立を促す学生支援のコツ	四国大学・短期大学部	FD/SD	37	0	37	1	
9月26日(金)	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	愛媛大学	FD	9	0	9	3	
9月26日(金)	教えないで成績を上げるTBL(チーム基盤型学習)という授業方法	香川大学	FD	10	0	10		
9月26日(金)	大人数講義を魅力的にするテクニック	高知県立大学・高知短期大学	FD	39	0	39		
9月29日(月)	授業へのグループワークの効果的な導入	香川大学	FD	6	0	6	1	
9月29日(月)	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	環太平洋大学短期大学部	FD	18	0	18		
9月30日(火)	TA講習	高知大学	ブレFD	29	0	29		
10月								
10月9日(木)～10日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ)	愛媛大学	SD	23	0	23	4	
10月23日(木)～24日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第2回	愛媛大学	SD	57	0	57	9	
10月29日(水)	学生の学びを促すシラバスの書き方	鳴門教育大学	FD	58	0	58		
10月31日(金)～11月2日(日)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ<高専対象>	愛媛大学	FD	7	0	7	2	
11月								
11月6日(木)～8日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)	愛媛大学	SD	23	0	23	10	
11月6日(木)	同上 開放講義「メンタリング実践」	愛媛大学	SD	7	0	7	1	
11月7日(金)	同上 開放講義「教職協働演習」	愛媛大学	SD	1	0	1		
11月8日(土)	同上 開放講義「危機管理論&実践」	愛媛大学	SD	3	0	3	1	
11月28日(金)	管理職研修 ～人事評価の心構えとその手法～	愛媛大学	SD	30	0	30	8	
12月								
12月2日(火)	教えないで成績を上げるTBL(チーム基盤型学習)という授業方法	阿南工業高等専門学校	FD	49	0	49		
12月18日(木)	アクティブラーニング入門	愛媛大学	FD/SD	3	20	23	1	4
12月24日(水)	アクティブラーニング入門	愛媛大学	FD/SD	11	22	33	3	4
12月25日(木)	基礎から学ぶ学習評価法	香川大学	FD	4	0	4	1	
12月25日(木)	学生の学びを促すシラバスの書き方	香川大学	FD	4	0	4	1	
12月26日(金)	大学教育カンファレンスin徳島	徳島大学	総合	149	0	149	7	
1月								
1月14日(水)	学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	愛媛大学	FD/SD	6	※2	24	30	2
1月22日(木)～23日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第4回)	香川大学	SD	18	0	18	9	
2月								
2月10日(火)～11日(水)	ファシリテーション力養成道場	高知大学	ブレFD	0	0	0		
3月								

日 程	プログラム名	開催大学	対象	受講者数			参加校数 (開催校以外)	
				対面	遠隔	計	対面	遠隔
3月4日(水)	「プレゼンテーションの方法」の教え方	香川大学	FD	0	0	0		
3月4日(水)	「レポートの書き方」の教え方	香川大学	FD	0	0	0		
3月4日(水)	協同学習の基本(入門編)	香川大学	FD	0	0	0		
3月4日(水)	「情報整理の方法」の教え方	香川大学	FD	0	0	0		
3月5日(木)～6日(金)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ＜東四国対象＞	徳島大学	FD	0	0	0		
3月9日(月)	愛媛大学教育改革シンポジウム	愛媛大学	FD/SD	0	0	0		
3月9日(月)	「日本語技法」の教え方 1	香川大学	FD	0	0	0		
3月9日(月)	「日本語技法」の教え方 2	香川大学	FD	0	0	0		
3月24日(火)	授業効果を高めるために授業の最初にすべきこと～質問が出る教室づくり～	高知大学	FD	0	0	0		
3月25日(水)	初年次科目のためのグループワークの技法	高知大学	FD	0	0	0		
3月26日(木)	能動的学習支援者必須！グループワークのためのファシリテーション入門	高知大学	FD	0	0	0		
3月30日(月)	TA講習	高知大学	ブレFD	0	0	0		
合 計				2,017	168	2,185	214	22

※1 SPODフォーラムプログラムについては、加盟校以外の参加校を多数含むため、参加校数は記載しない

※2 e-ラーニング受講者

平成26年度SPOD加盟校内講師派遣プログラム一覧

	大学等名	区分	プログラム名	講師担当校	講師	実施日	参加者数	うち学外参加者数 (遠隔講義受講者含む)
徳島	徳島大学	SD	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	愛媛大学	仲道	6月26日(木)	60	29
	鳴門教育大学	FD	学生の学びを促すシラバスの書き方	徳島大学	宮田	10月29日(水)	58	0
	四国大学・四国大学短期大学部	FD・SD	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	徳島大学	吉田	9月25日(木)	38	1
	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	FD	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	香川大学	岩中	9月11日(木)	70	(香川キャンパス遠隔2名)
香川	徳島工業短期大学	FD	クラスルームコントロール	愛媛大学	秦	4月25日(金)	17	0
	阿南工業高等専門学校	FD	教えないで成績を上げるTBL(チーム基盤型学習)という授業方法	高知大学	立川	12月2日(火)	49	0
	香川大学	FD	教えないで成績を上げるTBL(チーム基盤型学習)という授業方法	高知大学	立川	9月26日(金)	10	0
	香川県立保健医療大学	FD	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	香川大学	岩中	8月19日(火)	33	0
	四国学院大学	FD・SD	希望なし(FD・SDを効果的に進める組織づくり～事例紹介とお悩み相談～)	香川大学	—	—	—	—
	高松大学・高松短期大学	SD	大学職員のための企画力養成講座	愛媛大学	阿部	9月3日(水)	23	0
	香川短期大学	SD	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	愛媛大学	仲道	9月12日(金)	19	0
	香川高等専門学校	FD	事例から見た、学生・保護者から信頼される高専教育	阿南高専	坪井	9月18日(木)	26	0
	愛媛大学	FD	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	香川大学	岩中	9月26日(金)	9	3
	愛媛県立医療技術大学	FD	小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン～考え方と進め方～	高知大学	俣野	7月22日(火)	24	0
愛媛	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	FD	学生の学びを促すシラバスの書き方	香川大学	葛城	9月17日(水)	25	0
	松山大学・松山短期大学	FD	基礎から学ぶ学習評価法	愛媛大学	山田	6月19日(木)	32	4
	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	FD・SD	希望なし(FD・SDを効果的に進める組織づくり～事例紹介とお悩み相談～)	愛媛大学	—	—	—	—
	今治明徳短期大学	FD	ティーチング・ポートフォリオ入門～教育実践のリフレクション～	愛媛大学	清水	9月25日(木)	16	1
	環太平洋大学短期大学部	FD	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？	高知大学	塩崎	9月29日(月)	18	0
	新居浜工業高等専門学校	FD	事例から見た、学生・保護者から信頼される高専教育	阿南高専	坪井	6月11日(火)	30	0
	弓削商船高等専門学校	FD	担任教員に求められること～担任スキル開発ワーク～	阿南高専	坪井	6月5日(木)	22	0
	高知大学	SD	職員が輝くSDの実践事例	愛媛大学	阿部	6月10日(火)	16	0
	高知県立大学・高知短期大学	FD	大人数講義を魅力的にするテクニック	徳島大学	川野	9月26日(金)	39	0
	高知工科大学	FD・SD	教職員のためのPowerPoint ～分かりやすい話の組み立て方・資料作成・分かり易い話し方～	高知大学	立川	9月24日(水)	15	0
高知	高知学園短期大学	FD・SD	マインドマップ入門講座	高知大学	俣野	9月9日(火)	46	3
	高知工業高等専門学校	FD	小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン～考え方と進め方～	高知大学	俣野	7月29日(火)	22	0

平成27年度SPOD事業計画（案）

1. FD事業

- ・新規採用教員研修（年5回） 開催場所：各コア校（愛媛大学は2回実施）
- ・ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ（年2回）
 - ①全加盟校教員対象（年1回）
 - 開催場所：徳島大学
 - ②高専対象（年1回） 開催場所：愛媛大学
- ・ティーチング・ポートフォリオ，アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ ※
 - 開催場所：愛媛大学
- ・各種FDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
 - 研修プログラムガイド2015に掲載したプログラム

2. SD事業

- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（年5回）
 - 開催場所：香川大学，愛媛大学
 - レベルⅠ（新任職員研修）
 - 1回 5月中旬（香川大学）
 - レベルⅠ 1回 11月中旬（愛媛大学）
 - レベルⅡ 1回 10月中旬（愛媛大学）
 - レベルⅢ ※調整中
 - 共通科目 1回 9月上旬（愛媛大学）
 - 主担当：SPOD事務局 協力校：香川大学，愛媛大学
- ・国際連携系職員養成研修（年1回） 開催場所：愛媛大学
- ・社会連携系職員養成研修（年1回） 開催場所：愛媛大学
 - SPODフォーラム2015において開催
 - 主担当：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・次世代リーダー養成ゼミナール（年4回）
 - 開催場所：高知県，愛媛県，徳島県
 - 第1回 5月下旬 徳島
 - 第2回 7月中旬 愛媛
 - 第3回 11月上旬 高知
 - 第4回 平成28年1月下旬 愛媛
 - 主担当：SPOD事務局 協力校：高知大学
- ・職員のための講師養成講座（年2回） 開催場所：愛媛大学2回
 - 平成27年6月中旬・12月中旬
 - 主担当校：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・各種SDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
 - 研修プログラムガイド2015に掲載したプログラム
- ・スタッフ・ポートフォリオの作成ワークショップ ※

3. SPODフォーラム

- ・平成27年8月26（水）～28日（金）（3日間） 開催場所：愛媛大学
「学びの成果をどう可視化するか？」
トップリーダーセミナーを併せて開催
教職員能力開発拠点（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）と共催

4. SPOD共通事業

- ・SPOD内講師派遣（加盟校単位 各1回 計24回） 開催場所：各加盟校
原則として、1法人あたり1回とする。ただし、高等専門学校については、1校あたり1回とする。詳細は、SPODホームページに掲載
- ・SPOD将来構想ワーキンググループ
調査研究プロジェクト事業と連携して訪問調査を実施予定
- ・調査研究プロジェクト事業
年1テーマを研究対象とする予定
 - ①連携効果・組織変容検証プロジェクト（FD部門）
 - ②連携効果・組織変容検証プロジェクト（SD部門）
- ・その他コア運営協議会で承認された事業、プログラム等

5. SPOD運営

- ①総会（年1回） 平成28年3月頃
- ②ネットワークコア運営協議会（月1回程度）
- ③事業評価委員会（年1回） 平成28年3月頃
- ④監査（年1回） 平成28年3月頃
- ⑤その他
 - i. FD／SD分科会
 - ・FD分科会（年1回） 総会と同日開催（平成28年3月頃）
 - ・SD分科会（年1回） 総会と同日開催（平成28年3月頃）
 - ii. SPOD加盟校県内会議 四国各県において必要に応じて実施

※を付したプログラムについては、教職員能力開発拠点（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）主催事業として実施し、SPOD加盟校にも開放する

SPODフォーラム2015の開催について（案）

（趣旨）

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ネットワーク略称＝SPOD）」の企画として、SPODの実施する研修プログラム等を集中的に提供する。

（主催）

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

（共催）

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室（教職員能力開発拠点）

（日時・会場）

期間 3日間

日時 平成27年8月26日（水）～ 8月28日（金）

会場 受付 法文学部2号館講義棟

プログラム 法文学部2号館講義棟，愛大ミューズAL2
南加記念ホール（シンポジウム）

（全体テーマ）

「学びの成果をどう可視化するか？」

（参加対象者）

1. 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」加盟校の教職員
2. 1. 以外で，高等教育機関に所属している方及び高等教育行政に携わっている方
※SPOD加盟校の参加者を優先する。
※原則として民間企業に勤務している方の参加はお断りする。

（内容）

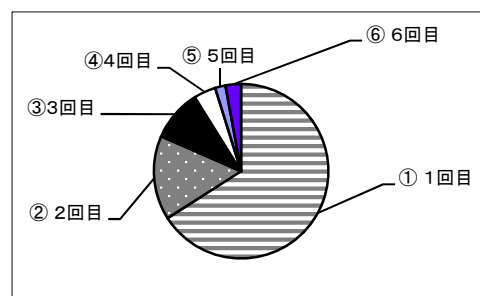
あらゆる立場の教職員が、その場でスキルアップにつながるような実践的なプログラムを提供する。

SPODフォーラム2014事前アンケート集計結果

アンケート回答者数:417名(webでの受講申込時に実施)

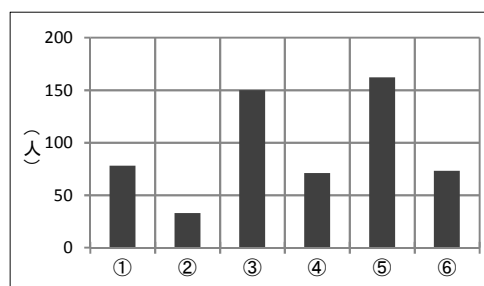
1. SPODフォーラムの参加は何回目ですか？

	度数	割合
① 1回目	275	65.9%
② 2回目	65	15.6%
③ 3回目	40	9.6%
④ 4回目	17	4.1%
⑤ 5回目	8	1.9%
⑥ 6回目	12	2.9%
計	417	100.0%



2. SPODフォーラムをどこで知りましたか？(複数選択可)

	度数	割合
① SPODホームページ	78	18.7%
② SPODメールマガジン	33	7.9%
③ SPODフォーラムチラシ	150	36.0%
④ SPOD研修プログラムガイド2014	71	17.0%
⑤ SPOD関係者からの案内	162	38.8%
⑥ その他	73	17.5%
アンケート回答者数	417	

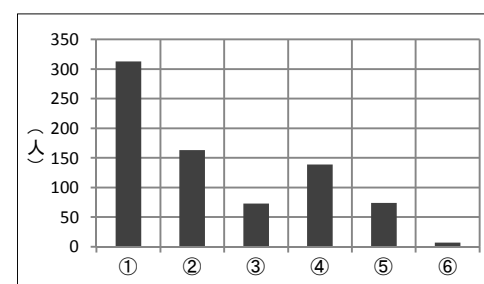


その他の記述内容

- ・ 職場からの案内(34)
- ・ 参加者の口コミ(5)
- ・ 研修担当者からの案内(9)
- ・ 上司からの案内(4)
- ・ SPODの研修から(次世代等) (2)
- ・ 関係者からの案内 (3)
- ・ あさがおML(3)
- ・ インターネット, フェイスブック (2)

3. SPODフォーラムに参加した動機は何ですか？(複数選択可)

	度数	割合
① 自分自身の能力開発のため	313	75.1%
② 組織の課題を解決するヒントを得るため	163	39.1%
③ 組織を超えた人脈づくりのため	73	17.5%
④ FDやSDに関する情報収集のため	139	33.3%
⑤ 上司に参加をすすめられたため	74	17.7%
⑥ その他	7	1.7%
アンケート回答者数	417	



その他の記述内容

- ・ 大学の運営改革を実現するため
- ・ 学校のFD担当者のため
- ・ 他大学の様子を知りたいため
- ・ 大学職員としての質を高めたいと思ったため。
- ・ 近隣地域の同じ立場の方々と、情報共有できる機会であるため。

SPODフォーラム2014全体アンケート集計結果

当日参加者数

SPOD加盟校から:258名

SPOD加盟校以外から:178名

合計:436名

アンケート回答者数:226名(フォーラム終了後、web入力にて実施)

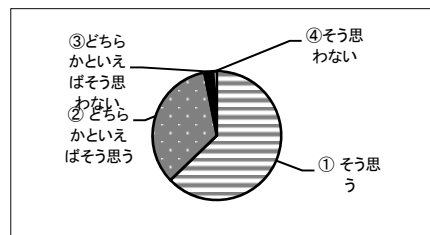
回答率:51.9%

1. SPODフォーラムでの研修成果について

【SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった】

	度数	割合
① そう思う	142	62.8%
② どちらかといえばそう思う	77	34.1%
③ どちらかといえばそう思わない	5	2.2%
④ そう思わない	2	0.9%
計	226	100.0%

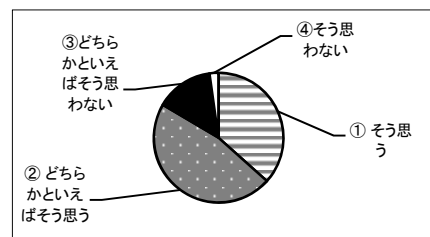
無回答 0



【所属組織を越えて人脈を広げることができた】

	度数	割合
① そう思う	82	36.6%
② どちらかといえばそう思う	105	46.9%
③ どちらかといえばそう思わない	32	14.3%
④ そう思わない	5	2.2%
計	224	100.0%

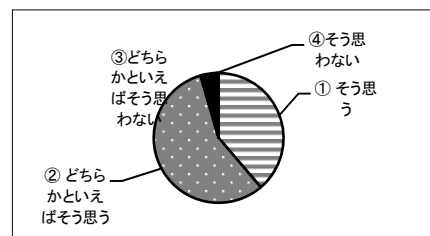
無回答 2



【自分に必要な知識やスキルを身につけることができた】

	度数	割合
① そう思う	86	38.7%
② どちらかといえばそう思う	126	56.8%
③ どちらかといえばそう思わない	9	4.1%
④ そう思わない	1	0.5%
計	222	100.0%

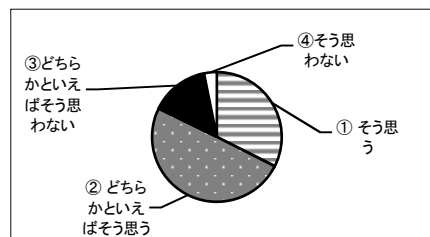
無回答 4



【業務や教育に対する意識や考え方が変わった】

	度数	割合
① そう思う	73	32.4%
② どちらかといえばそう思う	112	49.8%
③ どちらかといえばそう思わない	33	14.7%
④ そう思わない	7	3.1%
計	225	100.0%

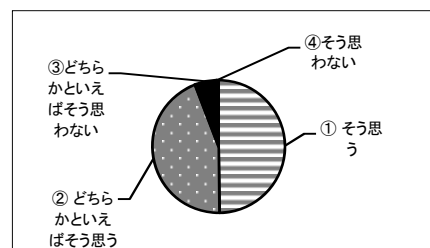
無回答 1



【業務や教育に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった】

	度数	割合
① そう思う	111	49.8%
② どちらかといえばそう思う	99	44.4%
③ どちらかといえばそう思わない	12	5.4%
④ そう思わない	1	0.4%
計	223	100.0%

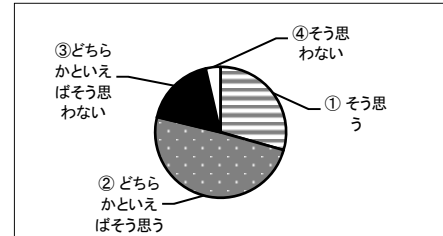
無回答 3



【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場で実際に活用している】

	度数	割合
① そう思う	65	29.4%
② どちらかといえばそう思う	109	49.3%
③ どちらかといえばそう思わない	39	17.6%
④ そう思わない	8	3.6%
計	221	100.0%

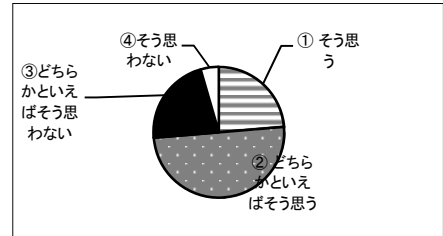
無回答 5



【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や他の教員に伝達している】

	度数	割合
① そう思う	53	23.7%
② どちらかといえばそう思う	112	50.0%
③ どちらかといえばそう思わない	49	21.9%
④ そう思わない	10	4.5%
計	224	100.0%

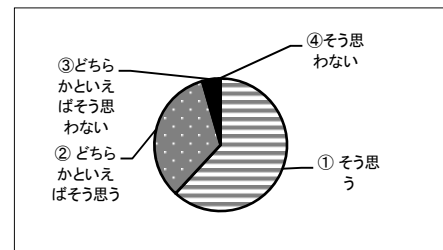
無回答 2



【今後もフォーラムをはじめ、SPODが提供するプログラムに参加したい】

	度数	割合
① そう思う	138	61.9%
② どちらかといえばそう思う	75	33.6%
③ どちらかといえばそう思わない	9	4.0%
④ そう思わない	1	0.4%
計	223	100.0%

無回答 3



2. 感想、ご意見、ご要望等（別紙参照）

3. 参加者ご自身について

所属先

	度数	割合
① 大学	197	87.2%
② 短期大学	21	9.3%
③ 高等専門学校	4	1.8%
④ その他	4	1.8%
計	226	100.0%

無回答 0

所属先の設置者

	度数	割合
① 国(国立大学法人)	90	40.0%
② 地方自治体(公立大学法人を含む)	33	14.7%
③ 学校法人	101	44.9%
④ その他	1	0.4%
計	225	100.0%

無回答 1

所属先の所在地

	度数	割合
① 四国	133	58.8%
② 東北	6	2.7%
③ 関東	25	11.1%
④ 中部	7	3.1%
⑤ 近畿	21	9.3%
⑥ 中国	22	9.7%
⑦ 九州・沖縄	12	5.3%
⑧ 北海道	0	0.0%
計	226	100.0%

無回答 0

職種

	度数	割合
① 教員	85	37.9%
② 職員	138	61.6%
③ 学生	0	0.0%
④ その他	1	0.4%
計	224	100.0%

その他の記述内容
・ 研究員(2)

無回答 2

あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？

	度数	割合
① FDの実施担当者	39	17.7%
② SDの実施担当者	13	5.9%
③ FDとSD両方の実施担当者	8	3.6%
④ FDやSDの実施担当者ではない	160	72.7%
計	220	100.0%

無回答 6

SPODフォーラム2014参加者からの要望等について

■開催時期／期間について

- ・開催時期は夏休み中が良い、参加し易い時期であるため
- ・4日日程でもいいくらい魅力的な内容ばかり。
- ・開催日程について、土日も含めて3日間とかであれば、より参加しやすいのかもしれませんが。自主参加したいと思った時に、平日であると前日参加したくても都合がつけられないこともあると思います。
- ・来年以降、就職活動スケジュールの後ろ倒し（採用選考8月解禁）に伴い、学生のキャリア支援に関するプログラムの実施や、関係教職員の参加が難しくなることを危惧しております。
- ・開催日程は、もっと長くっていただいてよいと思う。

対応

過去の実績に基づき、教職員が最も参加しやすい夏季休業中の平日に開催する。なお、来年度は愛媛大学で8月26日（水）～28日（金）の3日間で開催する予定である。

■開催会場について

- ・会場周辺に宿泊施設がない場合、JRなどの公共交通機関の時刻とフォーラム開始時刻を考慮してほしい。
- ・四国外からの参加のため、出来れば主要駅から近い会場で開催していただければ幸いです。大変充実した内容なので、四国以外でも出張開催をしていただければと思います。
- ・都合により自動車で伺うこともあり、周辺の駐車場（有料で構いません）をいくつかお知らせいただければと思います。
- ・今回の高知大学（朝倉キャンパス）は市街地から離れていたことから、路面電車、バス等での移動にも時間がかかりました。遠方から参加させていただくには前泊を伴ったり、帰りに大学から市街地、そこから空港までの移動時間を要する等、少々負担を感じました。
- ・大学ごとにいろいろ工夫をしている教室で開催してはどうか。
- ・四国の各大学で持ち回っており、大学を見学する機会となっている。開催大学は、大変だと思いますが、よろしくおねがいします。
- ・高知大学は駅から近く交通の便はよかった。
- ・四国巡礼の趣を呈してきました。

対応

今年度高知大学で開催したことにより、高知県内加盟校の教職員に多数御参加いただいた。2年前の徳島開催でも新たな参加者の獲得に繋がっており、SPOD加盟校にフォーラムを有効活用していただくためにも、四国内持ち回り開催について引き続き検討していく。また、参加者には公共交通機関の利用をお願いしていることから、フォーラムの開始時刻等についてはできる限り配慮する。

■広報活動について

- ・全体では開催校の教員の、リーダーセミナーでは学部・学科長・教務主任クラスの先生方の参加がとても少なかったように感じました。カリキュラム編成等で大学教育の中心を担う先生方には大学としてもっと参加を呼びかけるべきだと思います。
- ・関東・関西地方の大規模大学からの参加の多くが職員にとどまっているのが残念です。教員にもっと宣伝してほしいです。
- ・もっと多くの教職員に参加してもらいたいですね。
- ・今後もより多くの大学が参加されるよう、広報に力を入れて頂きたい。

対応

フォーラムの広報については、チラシを作成し全国の高等教育機関に配布しているほか、SPODメールマガジンやホームページで案内している。また、あさがおMLや他機関ホームページでの開催案内掲載等、多くの教員が活用しているメディアでも積極的に行っているが、毎年職員の参加者数が上回っている状態である。加盟校外への案内周知については限界があるが、各加盟校においては、教員だけでなく管理職クラスの方々にも参加いただけるよう案内方法等の検討をお願いするとともに、運営側としても、多くの方が参加したくなるような魅力的なプログラムを提供する。

■参加者間の交流について

- ・常連の先生方どうして和気あいあいと話されている光景をよく見かけましたので、非常に良い場であると感じておりました。私も馴染めるようこれからも参加させて頂きたく思っております。
- ・2日間（28日・29日）の参加で3つの講座に参加しました。全て、WS形式でグループ編成がありました。WS形式には慣れていたつもりでしたが今回とてもストレスフルになりました。28日に2つのワークショップを終えたところで、とても3つ目のWSに参加する気になれず、3つ目をキャンセルしました。
- ・事前に自己紹介用紙を記入してもらって、セミナー当日にみんなに配付できるようにしておくといととなりがわかって、親しみが出るように思う。

- ・始まる時間が遅く、終わる時間が遅いため、他の教職員と意見交換する時間が少なく感じた。プログラムを朝方にシフトすることは難しいのでしょうか。涼しい時間に実施されることで冷房費も抑えられるかもしれません。
- ・3日間の会期のうちオフィシャルな懇親会は1回しかできないとしても、それ以外の日の夜に、この指とまれ形式の飲み会情報が会場の一角に掲示され、行きたい人が自由に集まれるような仕掛けがあるとありがたい。例えば「若手職員同士飲みながら語りませんか？@ひろめ市場」など。いわば分科会みたいな飲み会です。
- ・懇親会は、高専チームなど職域の近い者をグループ分けしてテーブル設定して欲しい。名前も分からず懇親にならなかった。

対応

- ・SPODフォーラムは、年々大学教職員の間で定着していると感じる。フォーラムの特徴であるワークショップ型研修の提供が、自然に参加者間の交流を促進しており、フォーラムへの参加を同窓会に出席するような気持ちで参加されている方もいらっしゃる。一方で、SPODとしては、これまでどおり特徴である参加型の研修を提供していくが、それだけにとらわれず新しいスタイルの研修についても検討していく。
- ・例年、参加者相互の交流を図ることを目的として、リフレッシュルームの設置や懇親会の開催のほか、ラウンドテーブル、ランチョンセミナーや連続受講プログラムを設ける等、色々工夫しているところである。現在、来年度のフォーラムについて検討中であるが、ポスターセッション等、参加者が自然に交流を図ることができる仕掛けについてアイデアを出し合って検討している。
- ・懇親会についても、参加者が交流しやすくなるような仕掛けを検討する。

■プログラム構成について

- ・世代別の企画があっても面白いと思います。
- ・合宿形式も良いと思う。
- ・同一内容を日をずらして重複して行うなど、人数超過で受講できないといったことがないようにして欲しい。
- ・定員の関係上、受講したいプログラムに参加することができなかった点。
- ・受講したい科目の時間帯が重なり、受けた科目が受けられなかった。内容・テーマごとに(あるいはFD、SDごとに)教室が分かれば、重なりが減るのではないかと(面倒な注文かもしれませんが)。
- ・学会形式で、ポスター、オーラル、シンポジウム形式で事例報告など各大学の事例を発表でき、それらについてディスカッションできる機会があると、自分たちのやり方にアドバイスをもらったり、参考にしたりできると思います。
- ・国立大学は専門スタッフも潤沢であるが、私学は少ないスタッフをやり繰りしながら、何とか業務を改善しようとしているので、そうした私学にも役立つ講座も考えて欲しい。

- ・SDや、FDSDどちらにも対応したプログラムが増え、FDに関するプログラムが減ったような気がします。まだまだFDプログラムを充実させて欲しいと思いました。
- ・開講科目から興味のあるテーマを選択して受講できる点がよい。申込みが遅くなり、受けたい思った内容の一部は既に満員であった。
- ・内容を詰め込みすぎていると思われるプログラムが散見された。
- ・もう少し1回のプログラムの時間を長くしたほうがよいのではないかと。時間に追われてしまって、きちんと完結しないプログラムがあった。
- ・3年連続で参加させていただいたが、少し新鮮さを感じなくなった。

対応

- ・フォーラムは毎回全体的に好評であるが、例年プログラム構成について賛否様々なご意見をいただいている。マンネリ化というご意見もあるが、人気の高いプログラムについては受講できなかった方のため2年以上開講することとしており、リピーターの確保に繋げている。また、FD／SDのプログラム数については、一方に偏ることが無いようバランスを考慮して配置しているほか、教職協働が問われる状況の中、教員職員が共に考える場としてFD／SD共通プログラムも積極的に提供している。今後も引き続き、新規の方にもリピーターの方にも満足いただける、時代のニーズに合わせた魅力的なプログラムを提供していく。
- ・研修時間については、次回はもう少し柔軟な時間設定となるよう検討中である。

■プログラムの進行・運営について

- ・講演者の対象とする受講者像と、受講者がシラバスから予想する講演内容のギャップがあった。またそれは自分のみならずまわりの数人でも同意見であった。
- ・FD／SDと書かれたものでも、内容は明らかにSDのものであるものがあり、期待した内容とはまったく異なるものがあった。対象が誰なのか明確にする必要がある。
- ・予期した内容(プログラム内容の説明も読んでいた)と異なっていると感じる内容のものがいくつかあった。
- ・シラバス等に設定してある到達目標と、実際に内容に若干ずれがあったので改善してほしい。
- ・教職員が混在するプログラムにおいてグループワークをする場合、できれば教職員が混在 or 教員/職員でのグループ割りがいいと思います。私が参加した教職員混在のプログラムは自由席だったのですが、運悪く私以外全員が教員でして、ワークの際に共有できる事が少なかったです。
- ・ある程度の前知識が必要なものについては、受講者のレベルをそろえるため、簡単なアンケートを事前に課してはどうか。
- ・SPODの会場に際し、県外から来た他大学の方々のために簡単な観光スポットなどの冊子を入れていただきたいと思います。

対応

・今年度は、申込み時にシラバスを確認いただけるようチラシやホームページ上で工夫したところ、例年指摘をうけてきた「事前にプログラム内容を把握したい」等のコメントはなく、シラバスを確認された上で申込みいただけるよう改善されたことが分かった。しかし、上記コメントのようにシラバスと研修内容にギャップがあったとの指摘をいくつかいただくこととなった。次回フォーラムでは、講師の方々には、受講者に分かりやすいシラバス作成及びそのシラバスに沿った研修の実施をお願いするとともに、運営側としても講師の選考を早めに行い、内容を十分検討いただいた上でシラバス作成に望んでいただけるようスケジュールを調整する。

・講師から希望のあったプログラムについては、予め職種や所属を考慮の上、グループ分けを行っているが、指定がない場合は自由席となっている。会場受付で、同じ所属の方や職員同士が別グループとなるよう呼びかけるほか、講習冒頭に講師からも、受講者がより多くの方と交流いただけるグループメンバーとなるよう促していただく。

・シラバスの中で受講対象者を記載いただくことにより、ある程度のレベル設定を行っている。あとは、参加者の自己判断となるところであるが、講師には受講レベルをイメージしやすいよう受講対象者をより具体的に記載いただくこととする。また、研修によっては参加者に予習として事前課題を提示し、共通知識をもって研修に望んでいただくための工夫をする。

■シンポジウムについて

・今回の最終日の「シンポジウム」は、シンポジウムというよりワークショップだった。そのことを、事前にアナウンスしておくべきだったと思います。

・日程はこのあたりでいいですが、シンポジウムを最終日の午後にもってくると、遠隔地の者は出られなくなります。

対応

・シンポジウムについては、ワークショップ形式での実施やツイッターの導入など、参加者の皆様に満足いただけるものとなるよう毎年改善の努力を行っている。引き続き、内容・進行等を見直しつつ、教職員が一体となって考えることができるシンポジウムとなるよう工夫する。

・シラバスには参加型シンポジウムと明記していたが、講師の方々には受講者により分かりやすいシラバスとなるよう記入時に注意していただく。

・シンポジウムの日程については、開催校の状況を含め、フォーラム全体の流れを考慮しつつ決定させていただく。

■運営上の要望について

- ・名札について、スタッフも名前を入れるべき。
- ・研修スタッフに対する説明が不十分なのか、講師から指示されたこと（機器の不具合、体調不良者の対応等）の対応に戸惑っている場面が見られました。
- ・研修を受けつづけているとちょっと疲れる感じもするので、次回は一コマ休みを入れる等工夫して参加したいと思います。そのためには、参加者がくつろいで休憩出来る場所も必要かと思います。
- ・開催日程をもう少し早くに決定できないでしょうか。

対応

- ・開催日程については、年内にはメールマガジンやホームページでご案内している。手続き上、詳細なプログラムについては毎年6月頃のご案内となっているが、できる限り早く案内できるよう調整する。
- ・運営スタッフのほとんどは、事前に1度の説明を受けただけでご協力いただいている他大学や他部署の職員であるため、対応に手間取ってしまうことはある程度仕方がないと考えている。その場合でも、より経験豊富なスタッフを巡回させるなどの対策はとっているが、ご協力いただくスタッフが当日よりスムーズに動けるよう、事前の説明会の内容を改善する等さらに工夫する。
- ・受講者の休憩場所については毎回準備しているが、会場の関係上、全ての参加者に便利な場所での提供は難しい。また、休憩時間も短いため、実質的に十分に活用いただける状況ではない。今後は、プログラム配置や休憩時間等を検討し、参加者が交流を図りながら一息つける場所作りについても検討する。

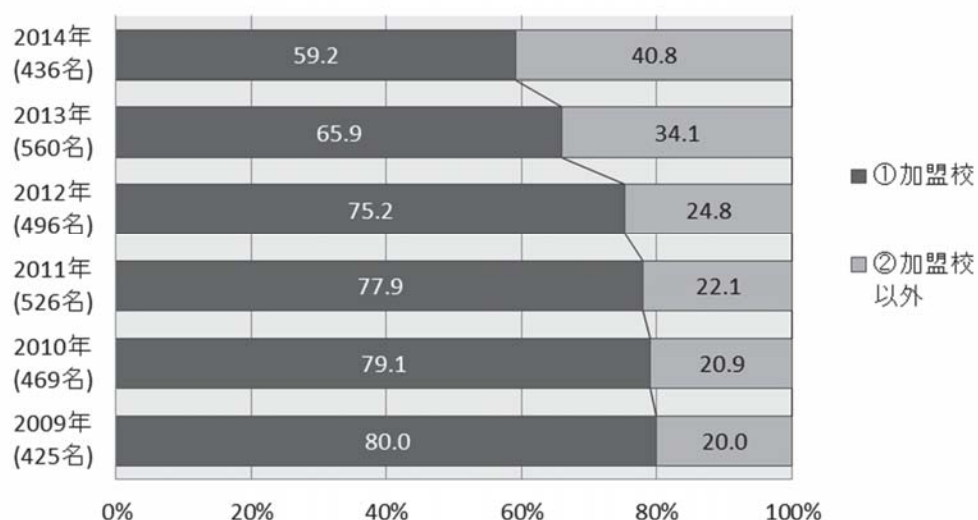
SPODフォーラム全体アンケート 経年比較 (2009年～2014年)

文責：山田剛史
(愛媛大学 教育企画室)

1

- ◆加盟校以外からの参加者が年々増加(参加費徴収の影響なし)
- ◆SPODが全国的に認知されてきたことを示唆
- ◆SPODが加盟校内で一定普及してきていることの現れと言える

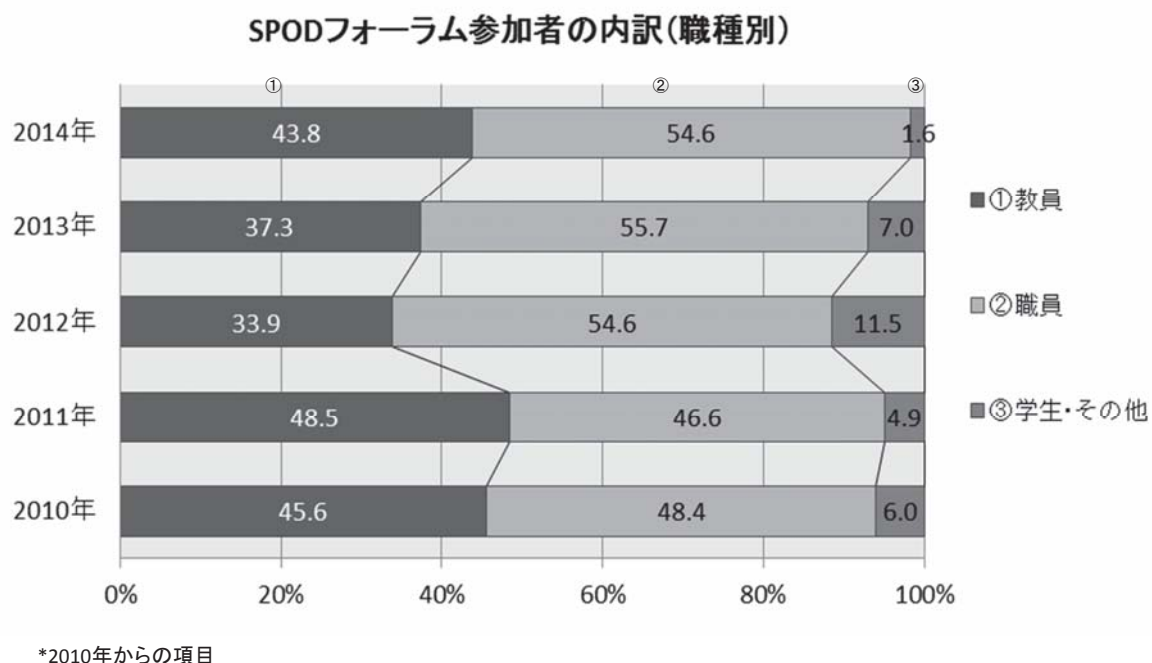
SPODフォーラム参加者の内訳(加盟校/加盟校以外)



*ただし、2009～2011年については、加盟校参加者のうち、それぞれ48名(2009),53名(2010),58名(2011)は遠隔講義受講者

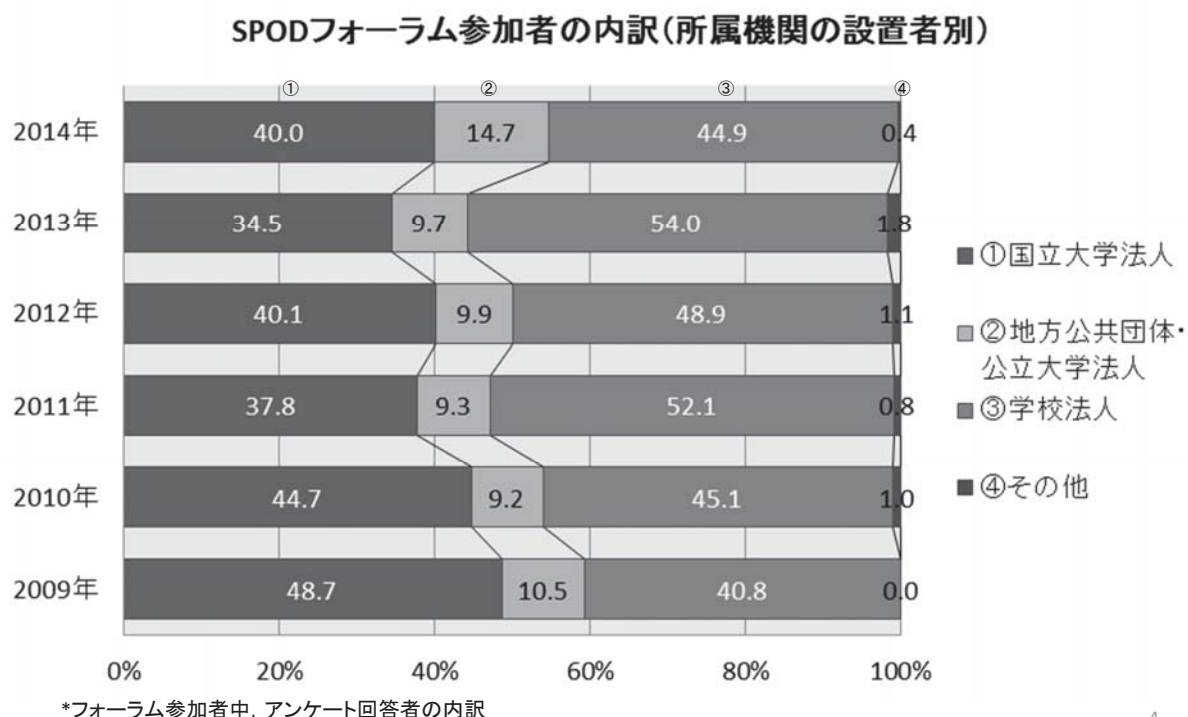
2

- ◆教員の参加率が上昇し、教員・職員の比率が取れてきている
- ◆全国的に大規模の職員研修が稀有のため、職員比率が高い



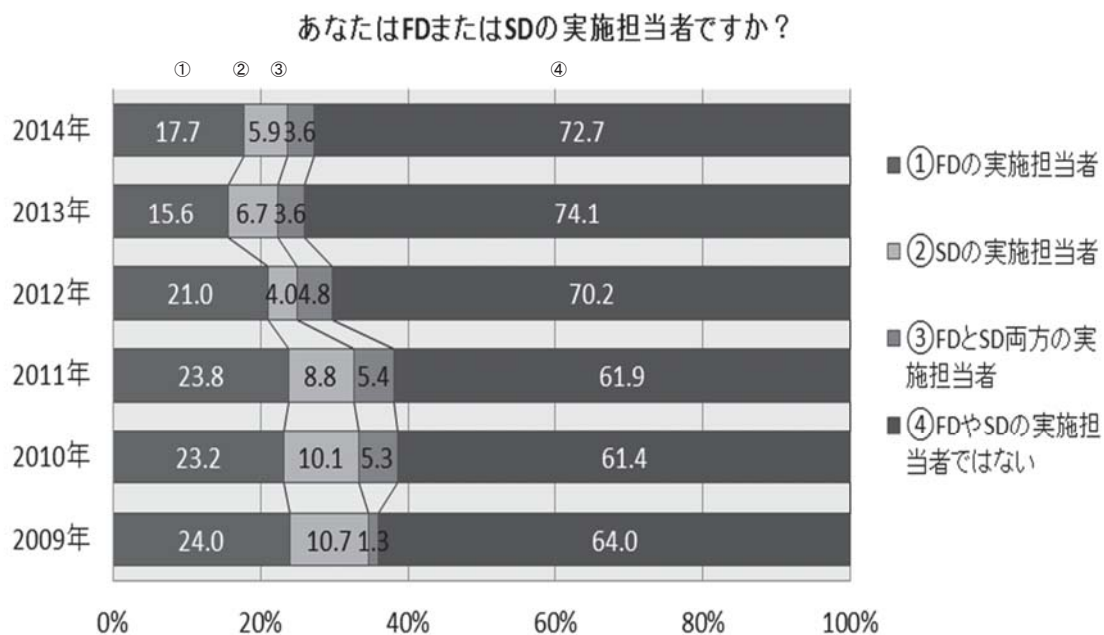
3

- ◆設置比率から見ると、国立の参加者が多い
- ◆2014年には公立の伸びが大きく、危機意識の現れが反映



4

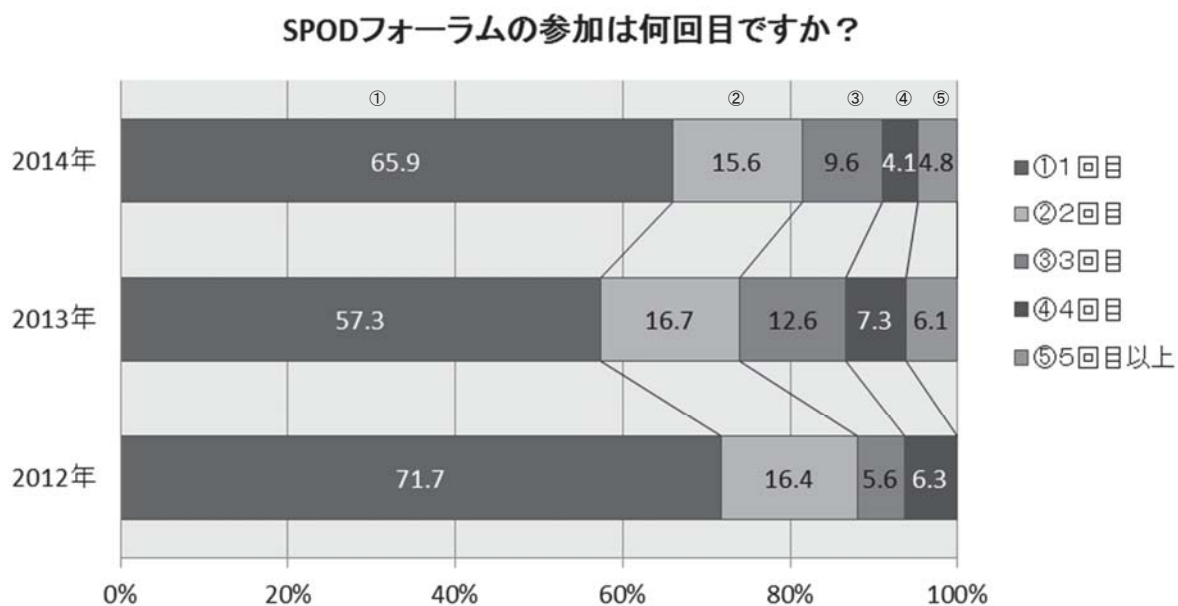
- ◆参加者の約3割はFD／SD担当者
- ◆参加者の約7割は非担当で個人レベルの情報収集・スキルアップ
- ◆玄人向けのプログラムと初心者向けのプログラムのバランスを配慮



*フォーラム参加者中、アンケート回答者の内訳

5

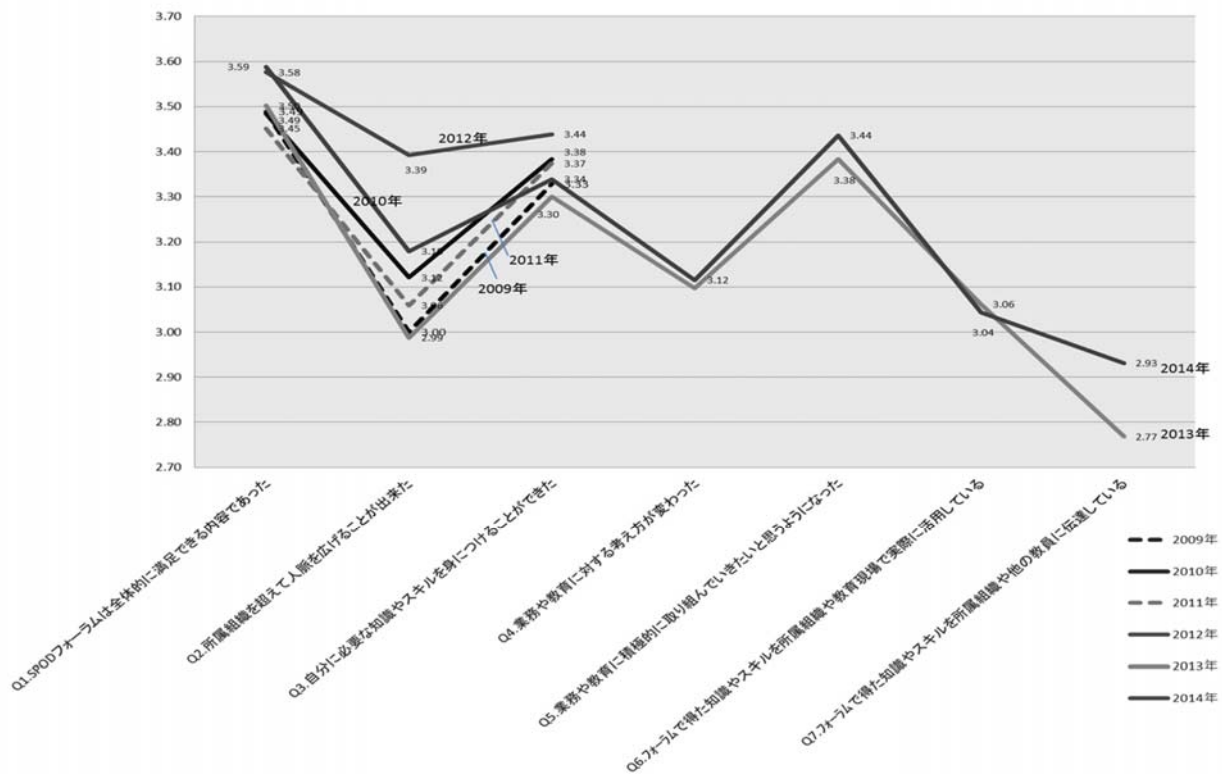
- ◆フォーラムのリピーターは全体の3分の1, 新規は3分の2
- ◆新規参加者とリピーター双方のニーズに応えるマンネリ化しない研修を



*2012年からの新規アンケート項目

6

各項目の平均値

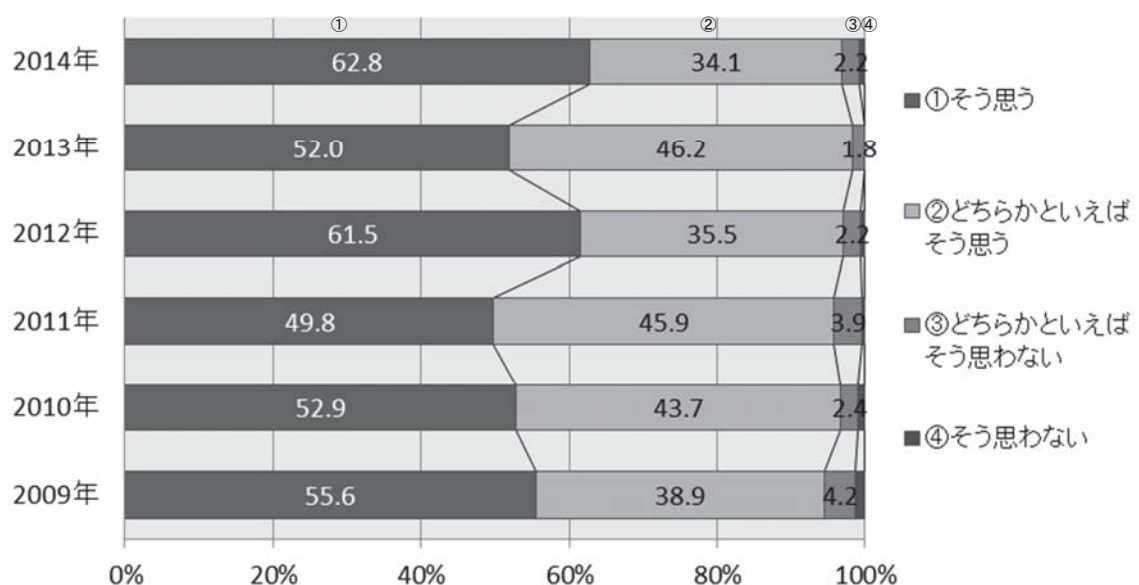


*Q4～Q7は2013年からの新規アンケート項目

7

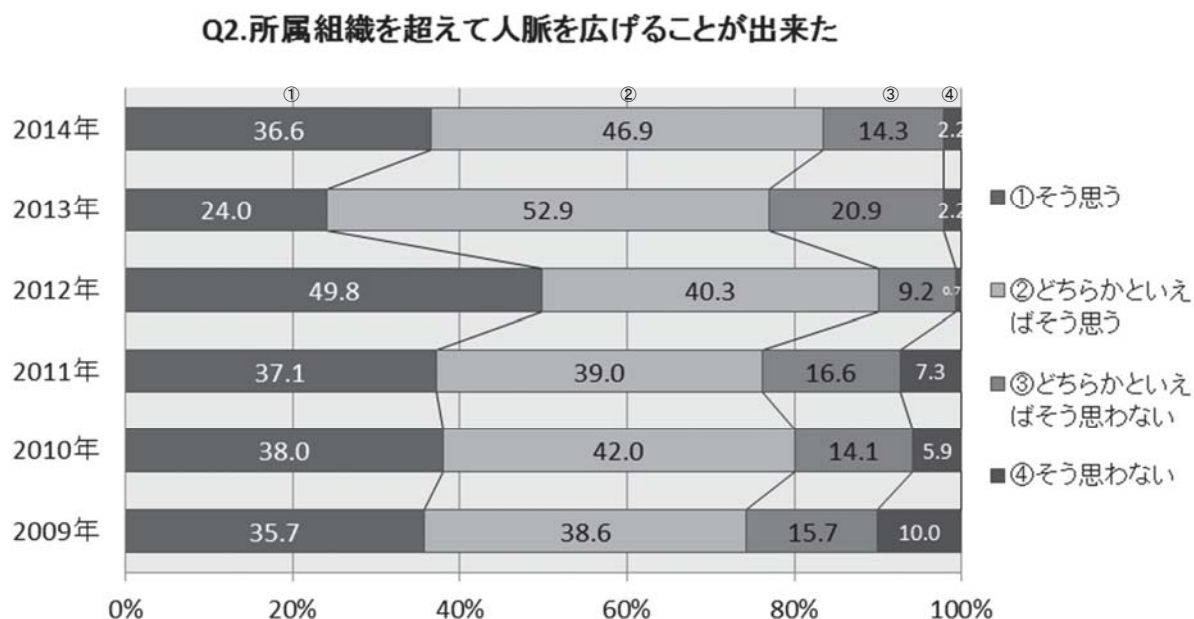
- ◆一貫して高い満足度を維持・向上できている
- ◆2014年は「そう思う」比率が過去最高，満足度全体も96.9%
- ◆満足度を規定する要因についても検討を

Q1.SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった



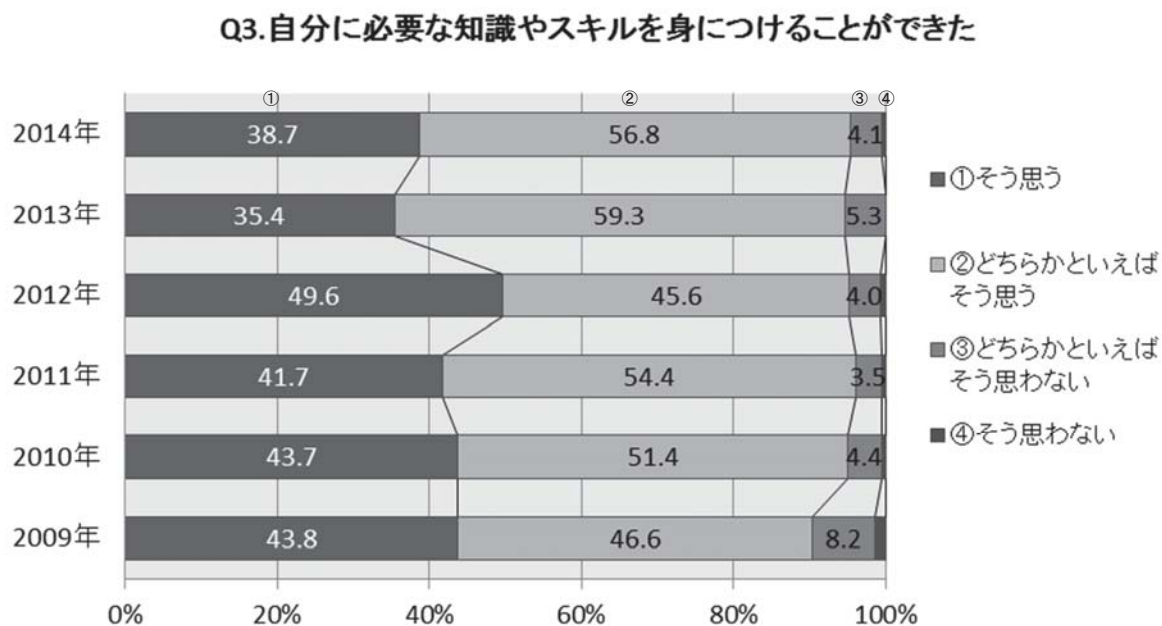
8

- ◆2012年以降、毎年企画開発しているが、まだブレがある状態
- ◆継続的な検討が必要



9

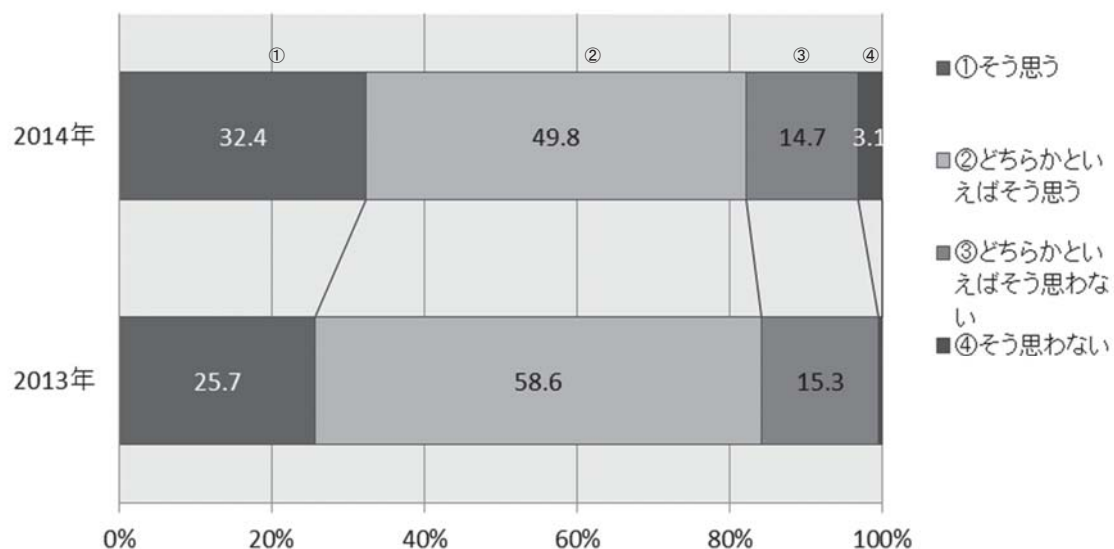
- ◆知識・スキルの身につき度は9割強をキープ
- ◆一方、「そう思う」割合は4割弱と、さらなる向上が必要
- ◆知識とスキルは異なるため、どちらが強み(弱み)なのか検討を



10

- ◆その場の満足度のみならず，継続的な取組の上で重要な項目
- ◆8割強で肯定的な回答がみられるが，2割近くで課題がある

Q4.業務や教育に対する考え方が変わった

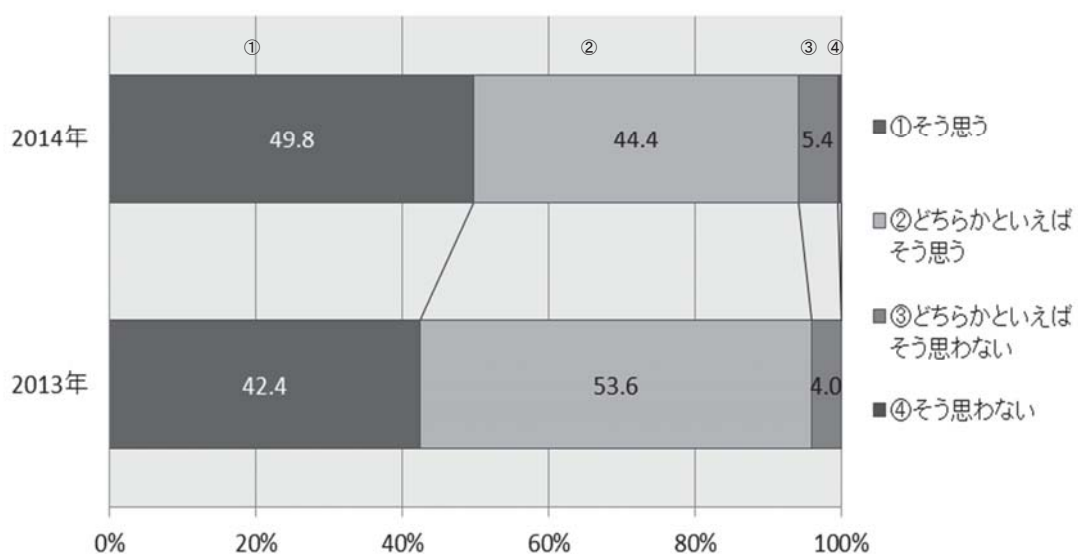


*Q4～Q7は2013年からの新規アンケート項目

11

- ◆研修が力になるために，行動の源泉である意欲の向上が不可欠
- ◆9割以上の参加者のモチベーションを高めることに成功

Q5.業務や教育に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった

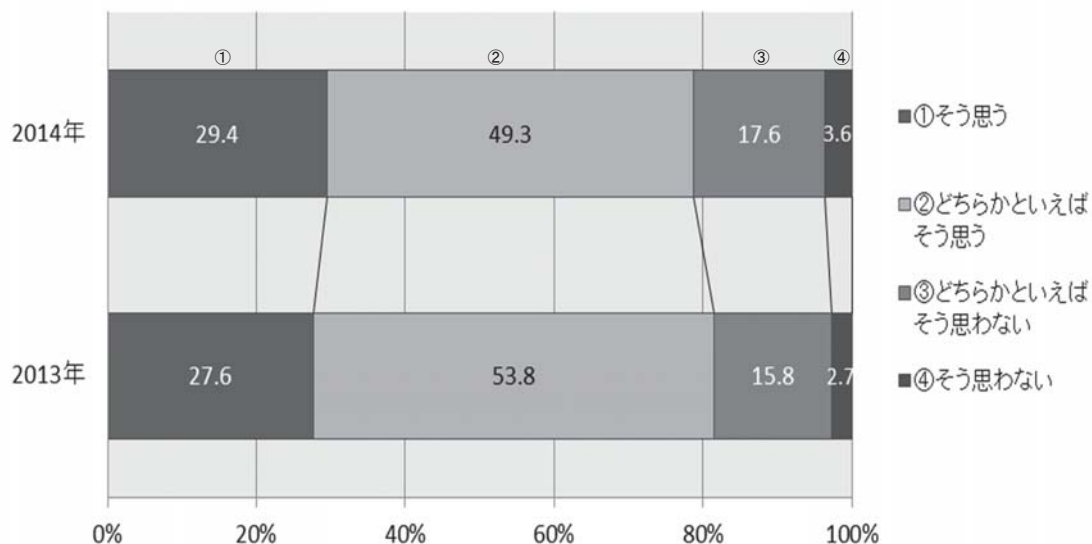


*Q4～Q7は2013年からの新規アンケート項目

12

- ◆実際に活用しなければ、研修の成功とは言えない
- ◆8割程度が実際に活用，2割は不十分。原因分析を

Q6.フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場で実際に活用している

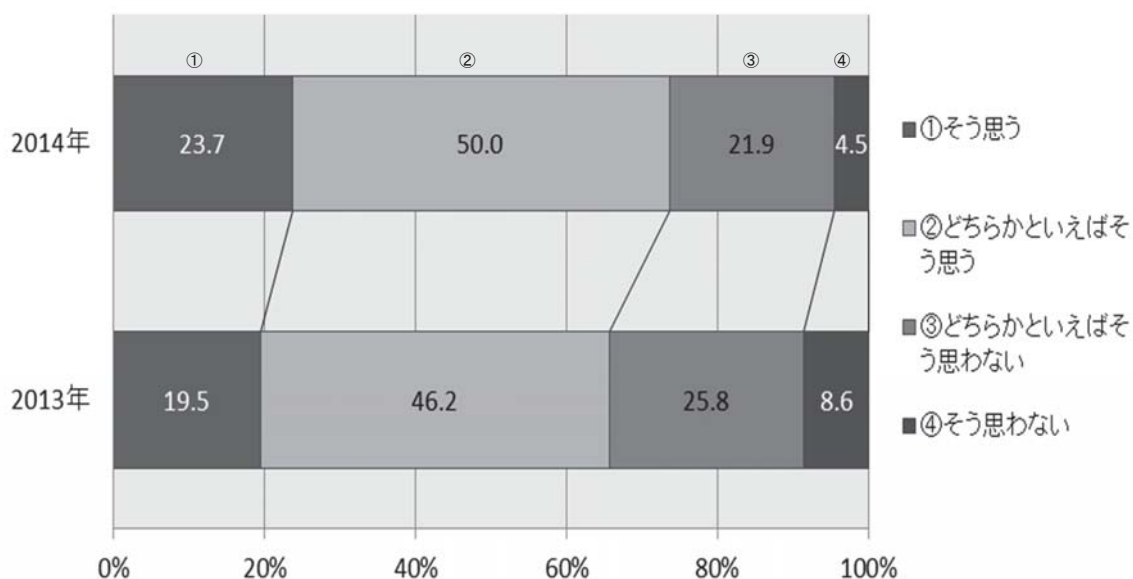


*Q4～Q7は2013年からの新規アンケート項目

13

- ◆個人の研鑽のみならず，他者への普及も重要
- ◆7割強の参加者が他者に影響をもたらそうとしている

Q7.フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や他の教員に伝達している



*Q4～Q7は2013年からの新規アンケート項目

14

今後の課題

- ✓ 2013年よりアンケートの項目を刷新
- ✓ 満足度(Q1/Lv.1)や学習成果(Q3/Lv.2)のみならず、意識・行動変容(Q4・5・6/Lv.3)や組織変容(Q7/Lv.4)といった研修成果の高次の段階まで取り入れている
- ✓ Lv.1やLv.2に比して、Lv.3やLv.4は値が低く、このレベルの向上まで含めた研修のデザインが必要
- ✓ フォーラム中のみならずプレ・フォローの段階、あるいは他の研修プログラムとの連動を含め、包括的な検討が必要
- ✓ 「SPOD調査・研究プロジェクト」とも連動し、研修全体のPDCAサイクルを構築

以上

15

平成25年度SPOD事業評価委員会からの
指摘事項に対する対応状況について（案）

■平成25年度事業評価委員会からの意見まとめ

※別紙参照

■平成25年度の対応について

SPODでは「設立から6年を迎え、SPOD事業の方向性を見直す必要がある」との指摘を受け（平成24年度事業評価委員より）、平成25年度末に「SPOD将来構想ワーキンググループ（以下、将来構想WG）」を設置し、設立当初から拡大・深化している事業の統合と分化について、中長期的な検討を始めたばかりである。

今回事業評価委員からいただいたご意見は、将来構想WGの検討事項と重複するものが多いため、将来構想WGでの議論を踏まえ、下記のポイント4点を中心に、中長期的な検討を進めるということで、今回の指摘事項への対応とするものである。

■事業評価委員会からの指摘事項のポイント（キーワード）

1. 事業の精選，事業マップ作成，SPODの目的・目標設定
2. 省力化，負担軽減，負担分散
3. 各加盟校の状況把握
4. 効果検証，評価指標，経年評価

ポイント1（事業の精選，事業マップ作成，SPODの目的・目標設定）は将来構想WGにおいて、最初に検討することである。その過程において、事業の精選が行われ、ポイント2（省力化，負担軽減，負担分散）への対応に繋がると考えられる。

【対応状況】

ポイント1，2については、将来構想WGにおいて、SPODの今後の事業運営の方針について検討を行った。

FDに関しては、SPODの役割は加盟校のFD活動への支援であり、最終的には各加盟校が自律的に教育改善を行うことができるよう、現状分析や課題解決のための提案等を中心とした支援に段階的にシフトしていくべきではないか等の意見が出され、事業精選を含め、引き続き検討する。

SDに関しては、この7年の間に大学人としての一般的な研修はSPODで実施し、そこで不足している部分については各加盟校の研修で補うという考えになっており、SPOD－SD研修については、継続していく必要があると考えられる。ただし、研修の在り方や内容、運営方法等については見直すべきとの認識はあり、まず次年度以降SDマップの見直しに着手し、SD研修プログラムの精選について検討する。

次年度は、S P O Dの必要性や費用対効果等について各加盟校への訪問調査を実施する予定であり、各加盟校の意見を踏まえた上でS P O Dの目的の再検討、事業精選について具体的に行う予定である。

また、ポイント1の検討にあたっては、ポイント3（各加盟校の状況把握）は不可欠と考えられるため、訪問調査を含めながら各加盟校への実態調査を実施する。

【対応状況】

今年度はS D事業において、次世代リーダー養成ゼミナール受講生の所属校へのヒアリング調査を行った。各大学ともに受講生の成長を認め、ゼミの継続を希望する一方で、課題提出等、受講生への負荷について心配する意見もあった。また、各組織における修了生の活用については、今後の受講者へのインセンティブにも繋がることから、優良事例の情報共有等、運営側から組織的なアプローチが可能か検討したいと考えている。現在、ヒアリングで頂いた意見を踏まえ、平成27年度の本ゼミの内容について検討中である。

なお、次年度には、各加盟校への訪問調査を予定しており、S P O Dの必要性や費用対効果等S P O D事業全般についての各加盟校の意見及び状況把握を行い、将来構想W Gでの検討材料とする予定である。

ポイント4（効果検証、評価指標、経年評価）については、平成25年度から「調査・研究プロジェクト」が本格的に始動され効果検証を始めているところであるが、その実施方法には検討の余地がある。ただし、そのためにはポイント1の議論が不可欠であり、その結果を踏まえた上で、単年度評価だけでなく経年評価を意識した中長期的な視点による評価指標や評価基準の明確化を図る。なお、これまで公表してきた過去の（単年度）評価について、全てを経年で分析することは現実的でないため、例えばS P O Dフォーラム等ターゲットを絞って検証する等、工夫して進める。

【対応状況】

今年度は、昨年度に調査研究プロジェクトの「連携効果検証ワーキンググループ」が実施した「新任教員研修（コア校4大学において標準化されたもの）受講者へのアンケート」について調査結果を分析し、研修受講後の教育活動への波及効果等を検証した。

回答からは、研修で習得した知識や理解が日常の教育活動に活かされていることが分かったが、多くの教員が、研修後に教育力向上のための活動への参加が継続していないことも判明し、個人レベルの取り組みだけでなく、組織的な取り組みの必要性が推察できた。

なお、この集計結果は冊子として発行し、全国の高等教育機関に発信予定である。

また、S P O Dフォーラムについても経年比較を行い、満足度や学習成果は高いものの、受講後の意識、行動変容や組織変容といった研修成果についてはやや低いという結果が得られ、これらの成果の向上まで含めた研修のデザインが必要であると推察される。

次年度については「組織変容検証ワーキンググループ」を中心に活動を行う予定である。訪問調査と合わせ、平成22年度に収集した各加盟校のF D／S D実施体制等について調査し、その後の組織変容について検証する予定である。

平成25年度SPOD事業の評価について

SPODでは、毎年度事業評価を行い、次年度の事業に活用することとしている。

このたび、平成25年度事業について、5名の「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)事業評価委員会委員から活動報告書及びヒアリングをもとに評価をいただいた。

各委員からは、SPODの連携効果及び組織変容の検証のために設置した「調査・研究プロジェクト」が本格的に始動したことに関して高い評価をいただいた。一方で、単年度評価に振り回されないこと、達成度を判断する評価基準を明確化することなど、検証にあたっては中長期的な視点に立ち、発足当初から変わりつつあるSPODの目的・目標と合わせて検証していくことが求められた。

各委員からの主な意見は以下のとおり。

【1】活動計画及び活動実績について

①FD

(強み)

- ・大学教員を対象としたポートフォリオのワークショップに関して充実している。
- ・SPODフォーラムは、全国から参加者を集めており質の高いプログラムの証左であるといえる。
- ・実に多種多彩な内容を展開し提供している点は、強みといえるだろう。
- ・学ぶだけでなく、FDerの養成をしている。

(弱み)

- ・学習者中心の学習環境が叫ばれるなか、ピア・サポーターや学生スタッフの育成と指導、効果検証に関する教職員向けのプログラムがないのは少し疑問である。
- ・メンターに対するネガティブな印象を払拭するには、教員の日常活動の枠組みの中でメンター業務を行うことができるような工夫も必要と思います。
- ・プログラムの提供者に偏りが見られる。
- ・プログラム提供者の養成研修のようなタイプのプログラムがもっとあってもよいのではないのでしょうか。
- ・ある一定の方針のもとでプログラムの峻別を行わない限り、SPODの負担は増してしまう。
- ・FDの重要な使命として、それぞれの大学の学生実態に即した授業方法の改善があると思うが、その点での成果がよく見えないこと。

②SD

(強み)

- ・SPODで学んだ教職員自らが次のプログラムの講師をするという、再生産を意図的につくっていること。
- ・プログラムを受講した職員の行動変容が確認できるようになってきている。

(弱み)

- ・プログラムの提供者に偏りが見られる。
- ・受講する職員への事前のオリエンテーションの充実や、SDを日常活動の中で意識できるような環境作りが求められているように思います。
- ・発足当時のニーズが各校で変わっている可能性もあります。再度学習したいニーズをSPOD全体で検討することも今後必要になるのではないのでしょうか。
- ・せっかく他の大学の方と一緒にになったのだから、コミュニケーションをとりたいという意見も多いようです。研修とは直接関係のないことですが、無視できない要望

かと思います。

- ・SD事業の高度化と、加盟校における制度の成熟（自治）とのバランスが求められる。
- ・ワークを取り入れていることは講義型の研修などに比べればはるかに効果的だが、時間の制約もあって受講生にとって不消化になっているように見える。
- ・フォーラムでは、総じて初心者、初級者対象となってしまうというプログラムが多く、中級者、上級者向けが少ない。

（その他、提案等）

- ・調査・研究プロジェクトの今後の成果を大いに期待したい。事業や研修を進めるに当たり、カークパトリックの第3レベル「個人の行動変容」や第4レベル「組織変容、業績向上」の検証は避けては通れない。
- ・SPODで学修された職員が、自分のテーマをもって自大学で他の職員に教育する機会を数多く行なうように働きかけてはどうでしょうか。

③組織運営等

（強み）

- ・四国のすべての大学・短期大学・高専を網羅している点は大いに評価できる。持てる大学がそうでない大学に対してニーズに沿った支援を行い、かつ効果的に運営されていることが報告からうかがえた。
- ・調査・研究プロジェクトが立ち上がり、検討が始まったことは重要です。SPODの運営し、受講生からの多くの評価結果は、大切な資源だと思います。5年後、10年後の研究に使えるようになるとよいと思います。
- ・SPOD事務局の牽引力。また、コア校（担当者）の貢献。

（弱み）

- ・業務評価などの管理運営業務の負担が大きいのではないかと。評価作業が目的化していないか心配。
- ・SPODの将来像という観点から、四国地区の全高等教育機関が加盟している現状について、そのメリット・デメリット等を検討する余地があるかもしれない。

【2】次年度実施に向けての提案

- ・報告書の書き方に関して、PCM（Project Cycle Management）の手法を取り入れ、当該年度の目標、その達成度を判断する評価指標、評価基準を明確化して、ロジックツリーによる体系化と効果検証を目指すとういと思われる。達成度の検証の部分と事業や活動の概要の部分に分けて執筆するなど工夫があるとういのではないかと。
- ・各事業の精選が必要との認識があるが、SPODの目的に対して事業マップを書き、目的に対して各事業の目標が整合的であるかどうかを点検する必要がある。
- ・特定の機関や人材にかかる負担を軽減する、あるいは、負担の分散化の観点からも、省力化について取り組まれてはどうかと。
- ・（SPOD各加盟校について）小規模だが活発である、活発だがSPOD依存傾向にあるとうい状況を把握することが肝要だろう。
- ・単年度の評価に振り回されることなく、中長期的にもつSPODの理念・方針と照らして、評価に対してSPODの考えを示すことも重要ではないかと。また、各種事業をデータとして経年的に追っていくことも求められるだろう。
- ・中級者、上級者向けのプログラムは、相当程度の時間を確保した取り組みを検討したほうがよい。

平成26年度第1回四国地区大学教職員能力開発ネットワークFD専門部会議事概要

- 1 日 時 平成26年6月24日（火） 14：45～15：55
- 2 場 所 愛媛大学ミュージズ3階 ミーティングルーム
- 3 出席者 別紙出席者名簿のとおり
- 4 議 題

（1）正副部会長の選出について

SPOD事務局の濱元教育企画課教育企画チームリーダーから、資料1－1～2に基づき、FD専門部会要項第4条より、正副部会長の任期が1年となっているため、今年度の正副部会長を選出する必要があることについて説明があり、部会長に愛媛大学の山田委員を推薦し、了承された。

続いて、山田部会長から、副部会長の選出について、FD専門部会要項第4条第4項より、部会長の所属校を除くコア校から部会長が指名することについて説明があり、徳島大学の宮田委員を指名し、了承された。

（2）調査・研究プロジェクトについて

【連携効果検証ワーキンググループについて】

徳島大学吉田委員から、資料2に基づき、連携効果検証ワーキンググループのアンケート調査結果について説明があった。山田部会長から、本調査結果については、FD専門部会メンバー内での共有とするが、学内研修時等に活用していただいてもよいのではとの発言があり了承された。引き続き意見交換が行われた。主な内容は以下のとおり。

- ・調査結果について、主なものを参加研修毎に分析してはどうか。
- ・調査、分析結果について、HP掲載、リーフレット作成について検討してはどうか。また、ジャーナルや学会誌等の掲載についても検討してはどうか。

【学生調査・IRワーキンググループについて】

香川大学佐藤委員より進捗状況について説明があった後意見交換が行われた。主な内容は以下のとおり。

- ・学生調査については、FD専門部会、SPODで行うのが難しい面がある。
- ・効果検証だけではなく、将来構想WGでの議論やデータに基づくコンサルも視野に入れ改めて調査内容、対象校等について検討する必要があるのではないかと。

【組織変容検証ワーキンググループについて】

高知大学俣野委員より進捗状況について説明があった後意見交換が行われた。主な内容は以下のとおり。

- ・（調査の内容を決めた上で）4県各2校ずつ程度で分担して調査してはどうか。
- ・組織コンサルシート、チェックシートのようなものを作成してはどうか。

(3) F D活動の取組内容について

山田部会長から、この部会前に開催されたS P O D将来構想ワーキンググループの議論を踏まえ、今後のF D活動の取組内容について意見交換が行われた。主な内容は以下のとおり。

- ・F Dプログラムのマップ化を検討してはどうか。
- ・各コア校での教育（教務）に関するミドル、マクロレベルの業務内容、検討状況（G P Aの活用、カリキュラムマップ、3つのポリシー、科目ナンバリング、教育改革の効果検証等）について情報共有、集約してはどうか。

平成26年度 第1回ネットワークコア運営協議会 FD専門部会出席者名簿

大学名	所 属	氏 名	備 考
徳島大学	総合教育センター 教育改革推進部門 講師	吉田 博	第3条第1号委員
香川大学	大学教育開発センター調査研究部 准教授	佐藤 慶太	第3条第1号委員
	教育・学生支援室修学支援グループ チーフ	石井 さおり	第3条第1号委員
高知大学	総合教育センター 大学教育創造部門 教授	塩崎 俊彦	第3条第1号委員
	総合教育センター 大学教育創造部門 准教授	立川 明	第3条第1号委員
	総合教育センター 大学教育創造部門 講師	俣野 秀典	第3条第1号委員
愛媛大学	教育・学生支援機構副機構長／教育企画室長・教授	小林 直人	第3条第1号委員
	教育企画室准教授	山田 剛史	第3条第1号委員
	総務部長	西尾 澄気	第3条第3号委員

(オブザーバー)

大学名	所 属	氏 名	備 考
徳島大学	総合教育センター 教育改革推進部門 特任研究員	上岡 麻衣子	FD
高知大学	学務課総合教育センター事務係長	武内 智之	事務
	学務課総合教育センター事務係 事務補佐員	石川 愛	事務
愛媛大学	教育企画室助教	清水 栄子	FD
	教育企画室 特定研究員	林 真弥	FD
	教育企画課教育企画チームリーダー	濱元 悠子	事務
	教育企画課能力開発室	秋山 裕佑	事務
	教育企画課教育企画チーム	三好 歌織	事務

平成26年度第2回四国地区大学教職員能力開発ネットワークFD専門部会議事概要

- 1 日 時 平成26年11月19日（水）13：00～14：30
- 2 場 所 愛媛大学法文学部本館2階 中会議室
- 3 出席者 別紙出席者名簿のとおり
- 4 議 題

(1) 調査・研究プロジェクトについて

【連携効果検証ワーキンググループ(SPOD 新任教員研修に関するアンケート調査)】

徳島大学宮田委員から資料1に基づき、連携効果検証ワーキンググループで実施した「SPOD 新任教員研修に関するアンケート調査」の結果について説明があった。

なお、山田部会長から本アンケートの調査結果をリーフレット発行したいこと、またその経費については調査研究プロジェクト経費から支出したい旨の説明があり、了承された。

引き続き、リーフレット発行にかかる作業分担等について意見交換が行われた。主な内容は以下のとおり。

- ・リーフレットの表題を変更する。

案：「SPOD 調査・研究プロジェクトFD部門『SPODにおける新任教員研修の効果』」

- ・調査の概要に記載している、調査対象者208名の属性と人数を記載する。
- ・リーフレットは、紙版とweb版の2種類を作成する。
- ・web版には、アンケート様式を添付する。
- ・アンケートの項目番号は、web版にのみ記載する。
- ・紙版を調査対象者を含む各加盟校及び全国の高等教育機関等へ郵送するとともに、HP等でweb版の公表を行う。
- ・編集及び印刷業者への発注作業は徳島大学が行う。
- ・紙版の納品場所は愛媛大学とし、同大学が発送作業を行う。
- ・印刷部数は1,000部とする。
- ・納品時期は2月末を目途とする。

また、徳島大学吉田委員から調査・研究プロジェクトの一環として、愛媛大学山田部会長、徳島大学宮田委員、吉田委員及び上岡特定研究員が、本アンケート調査結果を平成27年3月京都大学で開催される大学教育研究フォーラムにて発表することについて報告があった。なお、山田部会長から旅費については調査研究プロジェクト経費から支出したい旨の説明があり、了承された。

【組織変容検証ワーキンググループ】

高知大学俣野委員から進捗状況について説明があった後、意見交換が行われた。主な内容は以下のとおり。

- ・組織変容検証ワーキンググループが、組織変容に関する照会項目を検討作成する。
- ・SPOD 全加盟校に設定した照会項目と併せ、FD・SD 各部門の組織構成を照会する。
- ・これらにより SPOD が平成 22 年度に実施した組織構成に関する調査からの変化を確認し、組織変容の検証を行う。
- ・照会結果を踏まえ、各コア校で分担して各加盟校へのヒアリングを実施する。

(2) 調査・研究プロジェクトの来年度以降の取組内容について

山田部会長から、来年度以降の各ワーキンググループの在り方について検討したい旨の提案があった後、意見交換が行われ、WG を一本化し来年度については「組織変容」について中心に行うことについて了承された。

なお、WG 名については調査内容に併せた具体的な名称としてはどうかとの意見があり、今後検討することとなった。

(3) 将来構想ワーキンググループについて

山田部会長から、参考資料 1 に基づき平成 26 年 10 月 29 日(水)に実施した平成 26 年度第 2 回 SPOD 将来構想ワーキンググループにて議論された内容について説明があった。

**平成26年度 第2回ネットワークコア運営協議会
FD専門部会出席者名簿**

大学名	所 属	氏 名	備考
徳島大学	総合教育センター 教育改革推進部門 准教授	宮田 政徳	第3条第1号委員
	総合教育センター 教育改革推進部門 講師	吉田 博	第3条第1号委員
香川大学	大学教育開発センター調査研究部 准教授	葛城 浩一	第3条第1号委員
	教育・学生支援室修学支援グループ チーフ	石井 さおり	第3条第1号委員
高知大学	総合教育センター大学教育創造部門 准教授	立川 明	第3条第1号委員
	総合教育センター大学教育創造部門 講師	俣野 秀典	第3条第1号委員
愛媛大学	教育企画室副室長	山田 剛史	第3条第1号委員
	教育学生支援部教育企画課長	神 智彦	第3条第2号委員
	総務部長	西尾 澄気	第3条第3号委員

(オブザーバー)

大学名	所 属	氏 名	備考
徳島大学	総合教育センター 教育改革推進部門 助教	川瀬 和也	FD
高知大学	学務課総合教育センター事務係長	武内 智之	事務
	学務課総合教育センター事務係 事務補佐員	美川 真希	事務
愛媛大学	教育企画室 講師	村田 晋也	FD
	教育企画室兼総合情報メディアセンター教育デザイン室長 講師	仲道 雅輝	FD
	教育企画室 特定研究員	林 真弥	FD
	教育企画課教育企画チームリーダー	濱元 悠子	事務
	教育企画課教育企画チーム	戸田 裕香	事務
	教育企画課教育企画チーム	三好 歌織	事務

平成26年度SPODネットワークコア運営協議会SD専門部会(第1回) 議事概要

- 1 日 時 平成26年6月24日(火) 14:45～15:45
- 2 場 所 愛媛大学 ミューズ1階 アクティブラーニングスペース2
- 3 出席者 徳島大学 関谷人事課長, 沖津人事課課長補佐
香川大学 松永給与福利グループリーダー, 川池給与福利グループチーフ
高知大学 川崎人事課課長補佐
愛媛大学 秦教授, 阿部講師, 吉田教育学生支援部長, 織田教育企画課副課長,
- 4 陪席者 愛媛大学 丸山特任助教, 山内教育企画課教育企画チームサブリーダー,
戸田教育企画課員, 神谷教育企画課員, 川井教育企画課員

5 議 題

(1) SD専門部会長の選出について

愛媛大学の織田委員から資料1-1～2に基づき, SD専門部会要項第4条より正副部会長を選出する必要がある旨の説明があり, 部会長に愛媛大学の阿部委員を推薦し了承された。

続いて, 阿部委員から副部会長の選出について SD専門部会要項第4条第4項より部会長の所属校を除くコア校から部会長が指名する旨の説明があり, 高知大学の中山委員が推薦され了承された。

(2) 次世代リーダー養成ゼミナール欠席者の取扱いについて

愛媛大学の織田委員から資料2に基づき, 次世代リーダー養成ゼミナールの欠席者の取扱いの修正案について説明があり了承された。

(3) SD分科会の意見について

愛媛大学の織田委員から資料3に基づき, 平成25年度SD分科会での意見の対応策について説明があった。

なお, 加盟校からあげられた研修終了後の自大学の受講生の研修結果を知りたいという意見については, 各大学においてプログラムの参加者による報告会を開催し, 研修成果等の発表を検討いただくこととなり, 了承された。なお, アンケートや報告書の提出等の事務処理については, 現状のとおりSPOD事務局が実施することとなった。

(4) 国際連携系職員養成プログラムマップについて

愛媛大学の織田委員から資料4に基づき, 昨年度より開発を進めてきた国際連携系職員養成プログラムマップが完成し, 今年度のSPODフォーラムにおいてレベルⅡの「外国人受入実践」を実施予定である旨の説明があり了承された。

続いて, 阿部委員から, 国際連携系職員養成プログラムマップについては, 教員も参加することができるFD/SD共通プログラムとする旨の補足説明があり了承された。

(5) SD規程の見直しについて

愛媛大学の織田委員から, 資料5-1～3に基づき, 昨年度行った規程見直しにより作成された「プログラム(レベル)修了」の申請方法について提案があり, 今後, 申請の様式を準備していくことでも了承された。

(6) その他

① SPOD将来構想ワーキング・グループについて

■事業評価委員会について

- ・事業評価委員会は3年～5年に1度でも良い。(事業評価委員も変わるの、こちらが目指すもの・意図するものと違う意見があれば、その説明や対応に常に追われる。)
- ・事業評価委員会を数年に1回開催し、委員会の実施に係る経費を研修経費に費やした方が良い。
- ・事業評価委員の意見を事業に取り入れる面と、SPODの目標や手法を突き進む面があっても良い。

■SPOD-SDについて

- ・SD事業はSPOD内でルーティーン化できているため、これから大きく変えていく時期ではない。これから2～3年は現在の事業を継続し、SD事業の実施に係る負担や研修等の成果を検証していく。
- ・SD分科会等で各大学のニーズを取り入れながら、現在のSD事業を継続していく。
- ・SDを各加盟校が協働で実施することはオーソライズされているが、今後は、加盟校において、SD研修をどのように活用していただくか考えていく必要がある。
- ・SPOD立ち上げ当初から現場のニーズと到達目標の齟齬が生じてきているため、SDマップの見直しを行う。
- ・各加盟校の担当者が変わると、SPODの方向性等を把握するまでに時間がかかるので、各加盟校内で引き継いでいけるような取組みをしていきたい。
- ・SPOD事業において事務局の負担も大きくなってきているので、事務局のあり方も考えていく必要がある。

■SPOD-SD講師について

- ・今後、SPOD-SDCを積極的に増やしていきたい。
- ・いずれは、各加盟校において自大学内の講師によりSD研修を実施できるように、1つのプログラムを多くの職員が担当できるよう講師養成を進めたい。
- ・現在、各加盟校にSD講師を務めることができる職員がでてきている。若手職員向け(レベルⅠ)研修であれば自前でSPOD加盟校内の職員が講師を務めることができるようになってきている。また、中堅職員向け(レベルⅡ)・管理職員向け(レベルⅢ)についても現在育成中であり、講師を輩出できる目途がたっており、5年後、10年後にはSPOD加盟校内の職員が講師を務めることができるようにしたい。
- ・長い期間で講師養成等の人材育成を行い、その研修成果等の効果検証をしていく。

平成26年度SPODネットワークコア運営協議会SD専門部会(第2回) 議事概要

- 1 日 時 平成26年11月19日(水)13:00～14:30
- 2 場 所 愛媛大学 法文学部本館2階 小会議室
- 3 出席者 徳島大学 関谷人事課長, 沖津人事課課長補佐
香川大学 松永給与福利グループリーダー
高知大学 中山人事課長, 川崎人事課課長補佐
愛媛大学 阿部講師, 秋谷人事課長, 吉田教育学生支援部長, 織田教育企画課副課長
- 4 陪席者 愛媛大学 丸山特任助教, 山内教育企画課教育企画チームサブリーダー,
松崎教育企画課員, 神谷教育企画課員, 川井教育企画課員

5 議 題

(1) SPOD-SDC申請について

愛媛大学織田委員から、資料1-1～8及び参考資料1に基づき、愛媛大学仲道講師、清水助教、丸山特任助教、秋谷人事課長を本日開催されるコア運営協議会へ SPOD-SDC に推薦することについて説明があり、各候補者が認定基準を満たしていると認められたため、了承された。

なお、本件については、本日開催されるコア運営協議会に提案することとなった。

(2) SPOD-SDCの資格認定に関する申合せについて

愛媛大学織田委員から、資料2に基づき、SPOD-SDC の資格認定に関する申合せの修正案について説明を行い、了承された。

また、愛媛大学吉田委員から、申合せ別紙様式1の「他者の範となり得る人物であり」との文言について補足説明があり、各大学の人事担当部署で人物照会をしていただきたい旨依頼があった。

引き続き、阿部部会長から、SPOD-SDC は現在、愛媛大学の教職員のみが認定を受けているが、今後は他大学にも次世代リーダー養成ゼミナールや講師養成講座の修了生が講師を務め実績を積み、SPOD-SDC を取得し、研修受講者が講師となる循環を作っていくために協力いただくよう依頼があり、了承された。

なお、本件については、本日開催されるコア運営協議会に提案することとなった。

(3) 平成27年度SPOD-SDプログラムについて

愛媛大学織田委員から、資料3に基づき、平成27年度 SPOD-SD 研修の実施計画について説明があり、了承された。

引き続き、阿部部会長から、5月の新任職員研修については、できる限り開催校である香川大学の次世代リーダー養成ゼミナール修了生等に講師を務めていただくとともに、4月に異動等があったとしても講師を引き続き務めていただけるよう学内で調整をしていただきたい旨依頼があり、了承された。

(4) H27年度新任職員研修について

愛媛大学織田委員から、資料4-1に基づき、平成27年度の新任職員研修の日程表案について説明があり、了承された。

引き続き、愛媛大学織田委員から、資料4-2に基づき、新任職員研修のマニュアルの修正案について説明があった。なお、要望等があった場合は、開催校と連携しながら実施する旨説明があり、了承された。

(5) 職員のための講師養成講座(総論)の旅費及び大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修
(共通科目)テキスト代について

愛媛大学織田委員から、資料5に基づき、SPOD が負担していた職員のための講師養成講座(総論)の受講者の旅費及び教職員能力開発拠点が負担していた大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(共通科目)テキスト代について、来年度以降は、各大学(受益者)に負担をしていただきたい旨依頼があり、了承された。

引き続き、愛媛大学吉田委員から、今年度まで、次世代リーダー養成ゼミナールで開催(SPOD主催)していた外部講師によるプログラムは、来年度から、教職員能力開発拠点主催で開催する旨説明があった。なお、教職員能力開発拠点主催で開催する際には、全国の国公立大学等にプログラムを開放する必要がある、会場校に協力していただきたい旨依頼があり、了承された。

引き続き、阿部部会長から、来年度の次世代リーダー養成ゼミナールの冊子(修了プロジェクト実践ジャーナル)は作成しないが、ホームページ上には例年通り掲載することについて説明があり、了承された。

(6) その他

① 次世代リーダー養成ゼミナールについて

阿部部会長から、次世代リーダー養成ゼミナール受講者に、退学予定者がいることの報告があった。それを受けて、次世代リーダー養成ゼミナールの成果・要望等を把握するため、受講者がいる大学へ訪問調査を行いたい旨説明があり、了承された。

② 将来構想ワーキングについて

阿部部会長から、将来構想ワーキングが開催される時には、前回の経過を踏まえ、SD部会としては対面での意見交換をしたい旨説明があり、了承された。

③ COC の社会連携系職員養成プログラム研修の位置付けについて

阿部部会長から、愛媛大学が採択された「地(知)の拠点整備事業(COC)」について、教職員の能力開発が含まれている旨説明があった。教職員の能力開発については、SPODの社会連携系職員養成プログラム研修を、共同利用という位置付けで、実施したい旨依頼があり、了承された。

**平成26年度 第2回ネットワークコア運営協議会
SD専門部会出席者名簿**

大学名	所 属	氏 名	備 考
徳島大学	総務部人事課長	関谷 直樹	第3条第1号委員
	総務部人事課課長補佐	沖津 貴司	第3条第1号委員
香川大学	経営管理室給与福利グループ リーダー	松永 京一	第3条第1号委員
高知大学	人事課長	中山 胤	第3条第1号委員
	人事課課長補佐	川崎 美保	第3条第1号委員
愛媛大学	教育企画室兼広報室副室長 講師	阿部 光伸	第3条第1号委員
	総務部人事課長	秋谷 恵子	第3条第1号委員
	教育学生支援部教育企画課副課長	織田 隆司	第3条第2号委員
	教育学生支援部長	吉田 一恵	第3条第3号委員

(オブザーバー)

大学名	所 属	氏 名	備 考
愛媛大学	教育企画室 特任助教	丸山 智子	SD
	教育企画課教育企画チームサブリーダー	山内 ちあき	事務
	教育企画課教育企画チーム	松崎 由里子	事務
	教育企画課教育企画チーム	神谷 敦子	SD・事務
	教育企画課教育企画チーム	川井 順子	SD・事務

平成26年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会
及びFD／SD分科会 実施要項

主 催：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）
日 時：平成27年3月27日（金）13：00～16：00
場 所：（総会）愛媛大学城北キャンパス総合情報メディアセンターメディアホール
（FD／SD分科会）愛媛大学城北キャンパス愛大ミューズ3階M32，33
出 席 者：（総会）加盟校各大学長、短期大学長、高等専門学校長等
（FD／SD分科会）加盟校 FD／SD担当者等

【総 会】

- 13：00 開会挨拶 SPOD会長：愛媛大学長
- 13：05 平成26年度の「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の
実施状況について（25分）
- 13：30 平成27年度の「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の
運営について（30分）
- 14：00 質疑応答（30分）
- 14：30 閉 会

【FD／SD分科会】※FD分科会及びSD分科会を2箇所で開催

- 15：00 各加盟校での取り組み状況の報告
今後の具体的な事業の進め方について
意見交換 など
- 16：00 閉 会

※総会に先立ち昼食会（監事監査報告含む）を開催予定

日 時：平成27年3月27日（金）11：45～12：45
場 所：（昼食会）愛媛大学城北キャンパスセトリアン
出席予定者：（昼食会）会長（愛媛大学長）、副会長（各コア校学長又は代理出席者）、監事等

進化する大学教育の姿がわかる

愛媛大学教育改革 シンポジウム



開催日：平成27年3月9日(月)13:30～15:50

会場：愛媛大学城北キャンパス総合メディアセンター1階
(事例発表：メディアホール／ポスターセッション：ロビー)

プログラム

◆愛媛大学の教育改革について【13:30～13:40】

◆学内の教育改革の事例報告【13:40～14:10】

①「学部を越えた教員チームによる汎用的能力育成のための

サービスラーニング・プログラムの拡充と全学的展開」

発表者：農学部 大上 博基 教授

※平成26年度愛媛大学教育改革促進事業採択組

②質疑応答

◆基調報告【14:10～14:40】

①「附属高校をモデルとした高大接続改善の試み

—大学教育の到達点を高度化するために—」
発表者：四国地区国立大学連合アドミッションセンター長 井上 敏憲 教授

※平成26年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム」(テーマⅢ:高大接続)採択組

②質疑応答

◆ポスターセッション【14:50～15:50】

採択プログラムの内容と進捗状況を紹介



【ポスターセッションプログラム一覧】

平成25年度 採択プログラム・プロジェクト	
種目1(2) 理学部	理学部アクティブラーニングスペース活用による学生汎用的能力育成の取組み
種目1(2) 理学部	大型望遠鏡を利用した観測天文学実習の推進
種目1(2) 医学部	愛媛大学の医学教育ミッションに基づいた準正課教育の充実と拡充
種目1(2) 工学部	学部専門教育における文章作成の実践的演習と追跡評価システムの構築
種目2 教育学部他	伝統の継承プログラムを通じたグローバルマインドの育成
種目2 教育学部他	重症心身障害児に適切に対応できる特別支援教育教員養成カリキュラムの開発 —医療的ケアを中心とした学際的知識・技能の養成—
種目2 工学部他	教養英語に接続するESPIに基づいた革新的工学英語教育プログラムの開発 —共通教育英語教員と工学部教員および工学部母語英語教員との協働—
種目2 農学部他	学士課程における国際的に通用する安全衛生教育プログラム及び教育法の開発
種目2 学生支援センター他	愛大学生コンピテンシーの涵養に向けた「正課外活動」教育支援の推進
平成26年度 採択プログラム・プロジェクト(事例発表取組は除く)	
種目1(2) 理学部	理学部キャリア教育改革を通じた汎用的能力育成プログラム
種目1(2) 医学部	その人らしい生活を支えることのできる看護職の育成 —地域の人々との関わりから学ぶ体験強化教育プログラム—
種目1(2) 工学部	国際協働によるキャブストンプロジェクト教育の開発 —工学教育へ地域の課題を学生と解決するプロジェクト学習の導入—
種目1(2) 国際連携推進機構	準正課教育による英語教育：ピア・ティーチングプログラム
種目2 法文学部他	文理融合型教育プログラム及び横断的FWのデザインと開発
種目2 法文学部他	日本語リテラシー教育の汎用化に向けての開発と実践
種目2 医学部他	卒前・卒後共通シミュレーション医療教育プログラムの開発 —インストラクショナル・デザインの手法を活用して—
種目2 学生支援センター他	一歩進んだ障がい学生支援 —障がい学生のエンパワメントと支援者支援の充実—
種目3 法文学部	講演シリーズ・人文社会科学系学生のためのグローバル人材育成
種目3 法文学部	共通教育科目「フランス語」用E—ラーニング教材の開発
種目3 教育学部	ICTを利用した保健室登校生徒の学習支援を通じた学部専門教育
種目3 教育学部	附属幼稚園における教育実習後の実践力育成プログラムの開発と評価
種目3 理学部	先端研究機器を活用した学部学生による自主的な研究活動支援体制の構築
種目3 工学部	ICTを駆使した汎用的能力育成のための設計製図授業の確立
種目3 工学部	大学院入学進学者のための入学前技術英語教育プログラム
種目3 共通教育センター	ICTを活用した共通教育スポーツ系科目の「指導と評価」の改善
種目3 英語教育センター	初年次英語教育プログラムにおける修学支援体制の構築に向けて ：リメディアル及びサポートクラスの試行

申込み不要
どなたでもご参加
いただけます

種目1：学士課程教育及び大学院教育課程における組織基盤的な教育改革プログラム
種目2：教育内容及び教育方法に関する取組
種目3：1人又は比較的小数の教員グループによる創新的な教育開発プロジェクト
種目3：1人又は比較的小数の教員グループによる授業改善プロジェクト

